

官報

號外

大正十四年一月二十八日 水曜日

内閣印刷局

○第五回 帝國議會 衆議院議事速記錄第六號

大正十四年一月二十七日(火曜日)午後一時
十五分開議

議事日程 第五號

大正十四年一月二十七日
午後一時開議

第一 預金部預金法案(政府提出)

第一 読會

第二 大藏省預金部特別會計法案(政府提出)

第一 読會

第三 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一 読會

第四 在外國帝國專管居留地特別會計法廢止法律案(政府提出)

第一 読會

第五 陸軍營繕費補充資金特別會計法廢止法律案(政府提出)

第一 読會

第六 各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第一 読會

○議長(柏谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

第一 読會

一議員ノ異動左ノ如シ

第一 読會

沖繩縣第二區選出議員手塚正次君ノ補闕トシテ大城幸之一君當選セラレタリ

第一 読會

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

第一 読會

(以上一月二十四日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
森林伐採ニ關スル質問主意書

提出者 佐藤富十郎君
提出者 佐藤富十郎君
提出者 佐藤富十郎君

陸軍軍備ノ整理並行政整理ニ關スル質問
主意書 (以上一月二十四日提出)
茲ニ掲載ス

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲
去ル二十四日議長ニ於テ選定シタル委員左
ノ如シ 煙草專賣法中改正法律案

提出者 造林助成法案 (以上一月二十四日提出)
提出者 村山喜一郎君

提出者 村山喜一郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 岡本實太郎君

提出者 齋藤太兵衛君 (以上一月二十四日提出)
提出者 寺田市正君

提出者 坂梨哲君 (以上一月二十四日提出)
提出者 山口左一君

提出者 高島兵吉君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂東幸太郎君

提出者 村山喜一郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 齋藤太兵衛君

提出者 金光庸夫君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 山口左一君 (以上一月二十四日提出)
提出者 高島兵吉君

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日委員長及理事互選ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

提出者 去ル二十六日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ
如シ 煙草專賣法中改正法律案(政府提出)委員

提出者 岩本實太郎君 (以上一月二十四日提出)
提出者 坂梨哲君

第六部選出
請願委員 小島證作君 (高木正年君
君補闕)

第七部選出
豫算委員 牧野良三君 (平田民之助
君補闕)

一去二十四日衆議院規則第十五條但書ニ依
リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

一五〇 宇田友四郎君

一五五 村山喜一郎君

六〇一 齋藤太兵衛君

六〇二 寺田市正君

六〇三 横原經武君

六〇四 山口左一君

六〇五 高島兵吉君

六〇六 坂東幸太郎君

六〇七 坂梨哲君

六〇八 齋藤太兵衛君

六〇九 金光庸夫君

六一〇 坂梨哲君

六一一 山口左一君

六一二 齋藤太兵衛君

六一三 坂梨哲君

六一四 齋藤太兵衛君

六一五 坂梨哲君

六一六 齋藤太兵衛君

六一七 坂梨哲君

六一八 齋藤太兵衛君

六一九 坂梨哲君

第六部選出
請願委員 小島證作君 (高木正年君
君補闕)

君補闕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 前内務次官
湯淺倉平君退官ノ事ニ關シテ、先日私ノ申
述ベタ事ニ付キマシテ行違ノ嫌ガアルヤウ
ニ存ジマスカラ、一言釋明致シマス、湯淺
君退官當時ノ事ハ私ハ當時其職ニ居ラズノ
デアリマスカラ、固ヨリ詳シク知リマセヌ
ガ、聞及ビマシテ所ニ依リマスト、本人ヨ
リハ其當時直ニ辭任シタイ希望ヲ申出ラ
レタ申スコトニ承ッテ居ル、其後懲戒免職
ゼラレタコトハ公知ノ事實ニアリマシ
テ、私ハ固ヨリ其事實ヲ否認スル者ニアリ
マセヌ、唯、後ニ至テ優渥ナル恩命ニ
依ッテ、懲戒處分ヨリ生ジタ責任ヲ全然免
ゼラレタコト云フ次第アリマス、併シ其事
ヲ申述ベタノハ、反面ニ於テ同君ガ懲戒免
職ニ處セラレタコト云フコトヲ申上ダタ同

スルコト、シタノデアリマス、何卒御審議
ノ上御協賛アランコトヲ切ニ希望スル次第
デアリマス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 本案ニ對シテ質疑ノ
通告ガアリマスカラ、其發言ヲ許シマ
ス——堤康次郎君

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 大藏省預金部ニ付テハ、久
シク政界ノ伏魔殿トシテ世人ノ疑惑ニ包マ
レテ居タノニアリマスルシ、只今早速大藏
次官ノ御説明ニ依リマシテモ、放漫且ツ不
確實ナ嫌ガアッタ云フコトデアリマスカラ
ヲ、私ハ本案ノ審議ニ入ルニ先ダチマシテ、
現在ノ此預金部ノ資金ノ運用ノ方法ガ、如
何ニナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイン
デアリマス、時々大藏省カラ發表ヲセラレ
マスケレドモ、是ハ極メテ大體ノ數字ニアリ
マシテ、其内容ニ付テハ深ク窺ヒ知ルコ
トガ出来ナイノニアリマスカラ、益世人ノ
疑ヲ招ク基ニナツテ居ルト信ズルノニアリ
マス、私ハ此機會ニ於テ此資金ノ運用ガ如
何ニナツテ居ルカト云フコトヲ明細ニ御説
明ヲ願ヒタイト思フ、又第一ハ只今早速大
藏次官ノ御説明ニ依レバ、委員會ヲ組織シ
テ諮詢スルト云フコトニアリマシタガ、是
ハ委員會ヲ諮詢機關トスルヨリモ、寧ロ此
委員會ヲ諮詢機關トスルヨリモ、遙ニ之
ヲ監督スル上ニ於テハ有效デナイカト信ズ
ルノニアリマス、此點ニ付テハドウ云フ御
考ヲ御持チニナツテ居ラル、カ伺ヒタイン
員ハ省内ノ人ヨリモ、寧ロ大藏省以外ノ有
ユ職業ニ關係フシテ居ル人ヲ汎ク網羅ス
ル方が宜シイト考ヘマスガ、此點ニ付テノ
政府ノ御考ハ如何デアリマスカ伺ヒタイン
デアリマス、尙ホ此資金ノ運用ノ範圍及最
高ノ金額ニ付テハ、法律ヲ以テ之ヲ定メテ
置ク方ガ至當デアルト私ハ考ヘル、申スマ
デモナク此貯金ハ國民ノ零細ナル貯蓄ノ集
リデアリマスルカラ、是ハ國民全部ノ福利ヲ
増進セシムベキ事業ニ有利ニ之ヲ勵カサナ
ケレバナラナイン、且又全國民ニ汎ク之ヲ
徹底サセナケレバナラナイノニアリマスル
カラ、最高ノ金額ニ於キマシテモ、相當制

限ヲ加ヘテ置ク必要ガアルト私ハ信ズル
デアリマス、此點ニ付テモ政府ノ御考ヲ伺
ヒタイ、尙ホモウ一ツ只今早速次官ノ御説
明ノ通り、十五億何千万圓ト云フ莫大ナル
總額ニナツテ居リマスガ、是ハ我國ノ一年ノ
歲計トモ等シイ金額ニアリマスカラ、是ハ
普連ノ歲計ガ議會ニ於テ豫算ト決算ニ於テ
監督ヲ受クルガ如クニ、此金ヲ使フト云フ
トキニ豫メ議會ニ御相談ガアッテ、又其結
末ニ付テモ、議會ニ其決算ノ報告ヲシタ方
ガ、是ハ十分ニ監督ガ行屆クト信ズルノデ
アリマスガ、是等ニ付テノ政府ノ御考ヲ伺
ヒタインニアリマス

○議長(柏谷義三君) 早速政務次官

(政府委員早速整爾君登壇)

○政府委員(早速整爾君) 只今ノ御質問ニ
御答ヲシヤウト思フノニアリマス、第一ニ
御尋ニナリマシタノハ、預金部ノ資金ノ運
用ノ内容ニ付テハ、是ハ大體ヲ
總括シテ茲ニ申上グルノ外ハナインニアリ
マス、一寸茲ニ書イタ物ニ就テ讀上ダマ
スカラ、ソレデ御了承ヲ得タインニアリマ
ス、是ハ昨年十一月末ノ現在高ニアリマス、
國債證券トナツテ居リマスモノガ二億五千
二百九十万圓、ソレカラ一般會計及特別會
計ノ貸付金トナツテ居リマスノガ一億三千
八百八十万圓、ソレカラ地方ノ低利資金ニ
貸出シマシタ金額、是ガ一番金額ガ多イノ
デアリマシテ三億九千四百三十萬圓、ソレ
カラ事業資金ニ貸出シマシタノガ一億一千
十萬圓、ソレカラ對外投資、是ハ外國ニ對
シテ投資シテアル金等ヲ集メマシタノデ、
其高ガ一億四千三十萬圓、ソレカラ在外預
金トナツテ居リマス金額ハ二億二千六百七
十萬圓、内地ニ於テ預金トナツテ居リマス
ノガ二億七千七百十萬圓、先づ大體斯様ナ
細御説明申シテモ差支ナイノニアリマス、
私ハ茲ニ大體ヲ申上げテ置キマス、第二ノ
御尋ノ運用委員會ヲ諮詢機關ト爲サズシ
テ、決議機關トスルノガ適當デナイデハナ

イカト云フ御尋ニアリマス、是ハ堤君ノ御
ス、元ハ大藏大臣ノ權限ニアリマスカラ、政
府ハ之ヲ決議機關ト爲サズトモ、今日ニ於
テハ之ヲ諮詢機關ト爲シテ、運用ノ適正ヲ
圖ルコトが出來ルト信ジテ居ルノニアリマ
ス、諸問題ノ決定——諮詢機關ノ答申ヲ
尊重シテ、此運用ヲ完スルト云フコトヲ
圖リマス以上、必シモ決議機關デナクトモ、
今日ニ於テハ此運用ヲ完スルコトが出來
ルト信ジテ居ルノニアリマス、殊ニ大藏大
臣ノ行政ヲ致シマストニ於テ、決議機關ニ、
於テ之ヲ拘束スルト云フ意味ノモノヨリモ、
諮詢機關トシテ圓滿ニ之ヲ行フト云フコト
ガ、寔ニ妥當デアラウト信ジテ居ルノニア
リマス、ドウセ此特別會計ノ豫算ハ、議會
ノ協賛ヲ經テ之ヲ執行スルコトニナツテ參
ルノニアリマスカラシテ、間接ニハ議會ノ
決議ニモ從ハナケレバナラヌト云フ結果ニ
モナルノデ、運用委員會ハ諮詢機關足足
ト、斯様ニ信ジテ居ルノニアリマス、只今
申上ケマシタル如ク、特別會計ノ豫算ハ之
ヲ議會ニ提出シ、更ニ決算ノ報告ハ議會ニ
付キマシテハ、其點ニ於テ御了承ヲ願ヒタイ
全然資金ノ運用ノ範圍ヲ法律デ定メルト云
フコトハ致シマセヌケレドモ、兎ニ角決算
規定シタラ宜イデハナイカト云フコトニ
付キマシテハ、其點ニ於テ御了承ヲ願ヒタイ
上ノ問題ハ議會ニ之ヲ提出シテ、議會ニ承
認ヲ求メルト云フコトニ相成ルト云フコト
ダケハ、附ケテ御記憶ヲ願テ置キタイン
デアリマス、資金運用ノ範圍ハ大體ハ此預
金法ニモ定メラレアリマスガ、併シ其詳細
ハ此法律ニ於テハ規定ハシテナイノニアリ
マシテ、詳細ノ事ハ之ヲ勅令ニ讓ルト云フ
考ニナツテ居ルノニアリマス、ソレデシシモ
デアリマス、資金運用ノ範圍ハ大體ハ此預
金會計ニ於テハ總體ニ於テ利子ノ收入ガ一箇
年ニドレダケ、利子ノ支出ガ一箇年ニ是ダ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
必要ナ事デアルト信ズルノニアリマス(拍
手)尙又委員會ヲ設置スルト云フコトニ付
テ、又運用ノ範圍及金額ヲ法律デ制定スル
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
アリマシタガ、是ハ各々意見ノ相違ニ瓦リ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
最後ニ於テハ議會ノ決算ノ承認ヲ得ルノデ
アルト云フ御話デアリマシタガ、併シ特別
會計ノ運用資金トシテ積立テルト云フヤウ
ナ極ク茫漠タルモノニアリマシテ、十分議
會ノ監督ハ行屆イテ居ナイト思フニアリ
マス、私ハ要スルニ此法案ハマダ國民ノ貯
蓄機關ヲ國家ガ營ンデ居ル、即チ國家ノ財
蓄機關トシテノ十分ノ機能ヲ働カセシムベ
キ徹底シタル大改革案デアルトハ信ジナイ

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 此預金部ノ資金ノ運用ノ内
容ニ付キマシテ、只今早速大藏次官カラ御
説明ガアリマシテ、只今早速大藏次官カラ
ハ常ニ大藏省ノ發表ガ新聞紙上ニ載、テ居
リマスカラ、更メテ本議場ニ於テ御尋スル
必要ハナイニアリマス、詳細ノ事ハ委員
會デ、モト云フコトニアリマシタガ、此興
業債券、或ハ勸業債券ナドノ投資カ、長イ
間政商ト政府トノ間ニ於テ色々ナ請託ノ爲
ニ濫用ヲセラレテ、或ル汽船會社ヘ相當ノ
ガ、寔ニ妥當デアラウト信ジテ居ルノニア
リマス、ドウセ此特別會計ノ豫算ハ、議會
ノ協賛ヲ經テ之ヲ執行スルコトニナツテ參
ルノニアリマスカラシテ、間接ニハ議會ノ
決議ニモ從ハナケレバナラヌト云フ結果ニ
モナルノデ、運用委員會ハ諮詢機關足足
ト、斯様ニ信ジテ居ルノニアリマス、只今
申上ケマシタル如ク、特別會計ノ豫算ハ之
ヲ議會ニ提出シ、更ニ決算ノ報告ハ議會ニ
付キマシテハ、其點ニ於テ御了承ヲ願ヒタイ
上ノ問題ハ議會ニ之ヲ提出シテ、議會ニ承
認ヲ求メルト云フコトニ相成ルト云フコト
ダケハ、附ケテ御記憶ヲ願テ置キタイン
デアリマス、資金運用ノ範圍ハ大體ハ此預
金會計ニ於テハ總體ニ於テ利子ノ收入ガ一箇
年ニドレダケ、利子ノ支出ガ一箇年ニ是ダ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
必要ナ事デアルト信ズルノニアリマス(拍
手)尙又委員會ヲ設置スルト云フコトニ付
テ、又運用ノ範圍及金額ヲ法律デ制定スル
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
アリマシタガ、是ハ各々意見ノ相違ニ瓦リ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
最後ニ於テハ議會ノ決算ノ承認ヲ得ルノデ
アルト云フ御話デアリマシタガ、併シ特別
會計ノ運用資金トシテ積立テルト云フヤウ
ナ極ク茫漠タルモノニアリマシテ、十分議
會ノ監督ハ行屆イテ居ナイト思フニアリ
マス、私ハ要スルニ此法案ハマダ國民ノ貯
蓄機關ヲ國家ガ營ンデ居ル、即チ國家ノ財
蓄機關トシテノ十分ノ機能ヲ働カセシムベ
キ徹底シタル大改革案デアルトハ信ジナイ

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 此預金部ノ資金ノ運用ノ内
容ニ付キマシテ、只今早速大藏次官カラ御
説明ガアリマシテ、只今早速大藏次官カラ
ハ常ニ大藏省ノ發表ガ新聞紙上ニ載、テ居
リマスカラ、更メテ本議場ニ於テ御尋スル
必要ハナイニアリマス、詳細ノ事ハ委員
會デ、モト云フコトニアリマシタガ、此興
業債券、或ハ勸業債券ナドノ投資カ、長イ
間政商ト政府トノ間ニ於テ色々ナ請託ノ爲
ニ濫用ヲセラレテ、或ル汽船會社ヘ相當ノ
ガ、寔ニ妥當デアラウト信ジテ居ルノニア
リマス、ドウセ此特別會計ノ豫算ハ、議會
ノ協賛ヲ經テ之ヲ執行スルコトニナツテ參
ルノニアリマスカラシテ、間接ニハ議會ノ
決議ニモ從ハナケレバナラヌト云フ結果ニ
モナルノデ、運用委員會ハ諮詢機關足足
ト、斯様ニ信ジテ居ルノニアリマス、只今
申上ケマシタル如ク、特別會計ノ豫算ハ之
ヲ議會ニ提出シ、更ニ決算ノ報告ハ議會ニ
付キマシテハ、其點ニ於テ御了承ヲ願ヒタイ
上ノ問題ハ議會ニ之ヲ提出シテ、議會ニ承
認ヲ求メルト云フコトニ相成ルト云フコト
ダケハ、附ケテ御記憶ヲ願テ置キタイン
デアリマス、資金運用ノ範圍ハ大體ハ此預
金會計ニ於テハ總體ニ於テ利子ノ收入ガ一箇
年ニドレダケ、利子ノ支出ガ一箇年ニ是ダ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
必要ナ事デアルト信ズルノニアリマス(拍
手)尙又委員會ヲ設置スルト云フコトニ付
テ、又運用ノ範圍及金額ヲ法律デ制定スル
ト云フコトニ付テノ早速君カラノ御意見ガ
アリマシタガ、是ハ各々意見ノ相違ニ瓦リ
マスカラ深ク問ヒマセヌ、併シ此議會ノ監
督ト云フ點ニ付テ、何レモ特別會計ニ於テ
最後ニ於テハ議會ノ決算ノ承認ヲ得ルノデ
アルト云フ御話デアリマシタガ、併シ特別
會計ノ運用資金トシテ積立テルト云フヤウ
ナ極ク茫漠タルモノニアリマシテ、十分議
會ノ監督ハ行屆イテ居ナイト思フニアリ
マス、私ハ要スルニ此法案ハマダ國民ノ貯
蓄機關ヲ國家ガ營ンデ居ル、即チ國家ノ財
蓄機關トシテノ十分ノ機能ヲ働カセシムベ
キ徹底シタル大改革案デアルトハ信ジナイ

ス、植民問題ニ付テハ既ニ諸君ノ御承知ノ如ク、亞米利加ニ於テモ、潔洲ニ於テモ、南亞米利加ニ於テモ、若クハ南洋ニ於テモ、何處ニ於テモ日本ハ排斥セラレテ居レドモ、其實ノ日本ガ好戦的國家デアル、侵略的國家デアルト云フコトヲ言ヒマスルケガ常ニ世界各國ノ頭ニ深キ印象ヲ残シテ居ルガ爲ニ、此植民問題ニ對シテモ日本ヲ絶対ニ嫌ヒ、日本人ノ移民ヲ排斥スルヤウニナツテ來ル、其根本ハ列國ニ於テ日本ニ對スル大ナル誤解不信ト猜疑ノ念ト云フモノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトガ今日ノ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ惡クシ、日本ガ列國ノ中ニ立ッテ、常ニ危險ナル好戦的若クハ侵略的國家デアルガ如ク誤解シテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲドウシテ世界ノ人ニヨリ取去ルカ、此最モ深ク日本ヲ害スル所ノ感情ヲ如何ニシタナラバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ私ハ政府ノ當局者ガ從來爲シテ居ル所ヲ必シモ攻撃スルモノハナイガ、併ナガラテバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ居リハシナカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルトキニ、日本ノ政府ノ周到ナル注意ヲ缺キ、又外交ニ對シテ、根本ノ惡思想ヲ一掃スル十分ナル手段ヲ缺イテ居リハセヌカト云フコトヲ虞レルデアリマス、日本ニ對スル此誤解ガ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ危クシ、日本ノ周圍ニ常ニ黒キ雲ヲ密集セシムルヤウナ原因ヲ作シテ居ルノデアル、最近米國ニ於テ計畫セラタル海軍ノ大演習ハ、殆ド半歳以上モ費ス未會有ノ大演習デアル、布哇ヲ中心トシテ米國ノ大艦隊カ太平洋ヲ舞臺トシテ此所ニ大演習ヲスルコトハ、亞米利加ニ於テ未ダ會テ無イ所ノ事柄デアッテ、サウシテ之ガ爲ニ何千方百圓ノ金ヲ費スカ知レナイノアリマス、斯業ナル事柄ハ先日外交ノ質問ガ之ニ對シテアッタヤウデアリマ

スガ、私ハ此事柄ガ善イトカ惡イトカ云フノデハナイ、亞米利加ガ何千万圓ノ金ヲ授ジ如何ナル大計畫ノ海軍大演習ヲヤルトモ、ソレハ亞米利加ノ自由デアル、吾々ハ自自由デアル、併ナガラ此大演習ヲ行フコトモ無ケレバ、又苦情ヲ言フベキ道理モ持テ居ラナイノデアル、是ハ亞米利加ノ御日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、此事柄ニ依テ日本國民ヲ驚カシテヤラウ、脅カシテヤラウト云フ根柢ニ考ガアルト云フ風ニ之ヲ解釋致シマシテモ、日本ノ海軍、日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、斯様ニ對スル不信任ヲ招ク一ツノ原ノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトハ、日本國民ハ皆ナ承知シテ居ルノデアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ感ズルヤ否ヤハ亦自ラ別問題デアリマスルガ、斯ノ如キ大規模ナル大演習、日本ヲ敵視シタル所ノ、若クハ敵視スペク考ヘテ居ル所ノ此大演習ヲ行フ云フコトノ其根本ノ動機ハ何處ニアルカト言ヘバ、今言フ所ノ日本ニ對スル所ノ猜疑、日本ニ對スル不信任ヲ、日本ハ常ニ侵略國デアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地人ノ頭ヨリ取去ルコトガ出來ナインノデアル、又最近起々タ所ノ馬來半島ニ於ケル英吉利ノ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地ヲ造ルト云フ此事柄モ、幾ニハ「マグドナルド」氏ノ勞働内閣ノ時ニ於テハ之ヲ否決シテ、今又保守黨ノ内閣ガ大勢力ヲ得テ議會ノ多數ヲ制スルニ至レバ、忽チニシテ馬來半島ノ英吉利ノ海軍根據地ノ計畫ヲ再興スル、之ニ對シテモ色ニ辯解ハアラウ、英吉利ハ日本ノ諒解ヲ得テ居ルト云フコトモアラウ、併ナガラ其根柢ニハ英吉利ト雖モ、マダ日本ニ對シテ猜疑ノ念ヲ断タナインノデアル、之ニ對シテモ色ニ辯解ハアラウ、英吉利ハ日本ノ諒解ヲ得テ居ルト云フ考ヘテ居リハシナカ、斯ノ如キ憂フベキ現象デス所ノモノ、悉ク一カラ十マデ日本ノ外交ガ常ニ世界各國ノ頭ニ深キ印象ヲ残シテ居ルガ爲ニ、此植民問題ニ對シテモ日本ヲ絶対ニ嫌ヒ、日本人ノ移民ヲ排斥スルヤウニナツテ來ル、其根本ハ列國ニ於テ日本ニ對スル大ナル誤解不信ト猜疑ノ念ト云フモノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトガ今日ノ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ惡クシ、日本ガ列國ノ中ニ立ッテ、常ニ危險ナル好戦的若クハ侵略的國家デアルガ如ク誤解シテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲドウシテ世界ノ人ニヨリ取去ルカ、此最モ深ク日本ヲ害スル所ノ感情ヲ如何ニシタナラバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ私ハ政府ノ當局者ガ從來爲シテ居ル所ヲ必シモ攻撃スルモノハナイガ、併ナガラテバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ居リハシナカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルトキニ、日本ノ政府ノ周到ナル注意ヲ缺キ、又外交ニ對シテ、根本ノ惡思想ヲ一掃スル十分ナル手段ヲ缺イテ居リハセヌカト云フコトヲ虞レルデアリマス、日本ニ對スル此誤解ガ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ危クシ、日本ノ周圍ニ常ニ黒キ雲ヲ密集セシムルヤウナ原因ヲ作シテ居ルノデアル、最近米國ニ於テ計畫セラタル海軍ノ大演習ハ、殆ド半歳以上モ費ス未會有ノ大演習デアル、布哇ヲ中心トシテ米國ノ大艦隊カ太平洋ヲ舞臺トシテ此所ニ大演習ヲスルコトハ、亞米利加ニ於テ未ダ會テ無イ所ノ事柄デアッテ、サウシテ之ガ爲ニ何千方百圓ノ金ヲ費スカ知レナイノアリマス、斯業ナル事柄ハ先日外交ノ質問ガ之ニ對シテアッタヤウデアリマ

スガ、私ハ此事柄ガ善イトカ惡イトカ云フノデハナイ、亞米利加ガ何千万圓ノ金ヲ授ジ如何ナル大計畫ノ海軍大演習ヲヤルトモ、ソレハ亞米利加ノ自由デアル、吾々ハ自自由デアル、併ナガラ此大演習ヲ行フコトモ無ケレバ、又苦情ヲ言フベキ道理モ持テ居ラナイノデアル、是ハ亞米利加ノ御日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、此事柄ニ依テ日本國民ヲ驚カシテヤラウ、脅カシテヤラウト云フ根柢ニ考ガアルト云フ風ニ之ヲ解釋致シマシテモ、日本ノ海軍、日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、斯様ニ對スル不信任ヲ招ク一ツノ原ノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトハ、日本國民ハ皆ナ承知シテ居ルノデアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ感ズルヤ否ヤハ亦自ラ別問題デアリマスルガ、斯ノ如キ大規模ナル大演習、日本ヲ敵視シタル所ノ、若クハ敵視スペク考ヘテ居ル所ノ此大演習ヲ行フ云フコトノ其根本ノ動機ハ何處ニアルカト言ヘバ、今言フ所ノ日本ニ對スル所ノ猜疑、日本ニ對スル不信任ヲ、日本ハ常ニ侵略國デアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地人ノ頭ヨリ取去ルコトガ出來ナインノデアル、又最近起々タ所ノ馬來半島ニ於ケル英吉利ノ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地ヲ造ルト云フ此事柄モ、幾ニハ「マグドナルド」氏ノ勞働内閣ノ時ニ於テハ之ヲ否決シテ、今又保守黨ノ内閣ガ大勢力ヲ得テ議會ノ多數ヲ制スルニ至レバ、忽チニシテ馬來半島ノ英吉利ノ海軍根據地ノ計畫ヲ再興スル、之ニ對シテモ色ニ辯解ハアラウ、英吉利ハ日本ノ諒解ヲ得テ居ルト云フ考ヘテ居リハシナカ、斯ノ如キ憂フベキ現象デス所ノモノ、悉ク一カラ十マデ日本ノ外交ガ常ニ世界各國ノ頭ニ深キ印象ヲ残シテ居ルガ爲ニ、此植民問題ニ對シテモ日本ヲ絶対ニ嫌ヒ、日本人ノ移民ヲ排斥スルヤウニナツテ來ル、其根本ハ列國ニ於テ日本ニ對スル大ナル誤解不信ト猜疑ノ念ト云フモノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトガ今日ノ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ惡クシ、日本ガ列國ノ中ニ立ッテ、常ニ危險ナル好戦的若クハ侵略的國家デアルガ如ク誤解シテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲドウシテ世界ノ人ニヨリ取去ルカ、此最モ深ク日本ヲ害スル所ノ感情ヲ如何ニシタナラバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ私ハ政府ノ當局者ガ從來爲シテ居ル所ヲ必シモ攻撃スルモノハナイガ、併ナガラテバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ居リハシナカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルトキニ、日本ノ政府ノ周到ナル注意ヲ缺キ、又外交ニ對シテ、根本ノ惡思想ヲ一掃スル十分ナル手段ヲ缺イテ居リハセヌカト云フコトヲ虞レルデアリマス、日本ニ對スル此誤解ガ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ危クシ、日本ノ周圍ニ常ニ黒キ雲ヲ密集セシムルヤウナ原因ヲ作シテ居ルノデアル、最近米國ニ於テ計畫セラタル海軍ノ大演習ハ、殆ド半歳以上モ費ス未會有ノ大演習デアル、布哇ヲ中心トシテ米國ノ大艦隊カ太平洋ヲ舞臺トシテ此所ニ大演習ヲスルコトハ、亞米利加ニ於テ未ダ會テ無イ所ノ事柄デアッテ、サウシテ之ガ爲ニ何千方百圓ノ金ヲ費スカ知レナイノアリマス、斯業ナル事柄ハ先日外交ノ質問ガ之ニ對シテアッタヤウデアリマ

スガ、私ハ此事柄ガ善イトカ惡イトカ云フノデハナイ、亞米利加ガ何千万圓ノ金ヲ授ジ如何ナル大計畫ノ海軍大演習ヲヤルトモ、ソレハ亞米利加ノ自由デアル、吾々ハ自自由デアル、併ナガラ此大演習ヲ行フコトモ無ケレバ、又苦情ヲ言フベキ道理モ持テ居ラナイノデアル、是ハ亞米利加ノ御日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、此事柄ニ依テ日本國民ヲ驚カシテヤラウ、脅カシテヤラウト云フ根柢ニ考ガアルト云フ風ニ之ヲ解釋致シマシテモ、日本ノ海軍、日本ノ國民ニ對シテノ一ツノ脅威デアル、斯様ニ對スル不信任ヲ招ク一ツノ原ノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトハ、日本國民ハ皆ナ承知シテ居ルノデアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ感ズルヤ否ヤハ亦自ラ別問題デアリマスルガ、斯ノ如キ大規模ナル大演習、日本ヲ敵視シタル所ノ、若クハ敵視スペク考ヘテ居ル所ノ此大演習ヲ行フ云フコトノ其根本ノ動機ハ何處ニアルカト言ヘバ、今言フ所ノ日本ニ對スル所ノ猜疑、日本ニ對スル不信任ヲ、日本ハ常ニ侵略國デアル、併ナガラ此亞米利加ノ大ナル脅威ヲ日本ガ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地人ノ頭ヨリ取去ルコトガ出來ナインノデアル、又最近起々タ所ノ馬來半島ニ於ケル英吉利ノ要塞ノ建築、若クハ飛行機ノ根據地ヲ造ルト云フ此事柄モ、幾ニハ「マグドナルド」氏ノ勞働内閣ノ時ニ於テハ之ヲ否決シテ、今又保守黨ノ内閣Ga大勢力ヲ得テ議會ノ多數ヲ制スルニ至レバ、忽チニシテ馬來半島ノ英吉利ノ海軍根據地ノ計畫ヲ再興スル、之ニ對シテモ色ニ辯解ハアラウ、英吉利ハ日本ノ諒解ヲ得テ居ルト云フ考ヘテ居リハシナカ、斯ノ如キ憂フベキ現象デス所ノモノ、悉ク一カラ十マデ日本ノ外交ガ常ニ世界各國ノ頭ニ深キ印象ヲ残シテ居ルガ爲ニ、此植民問題ニ對シテモ日本ヲ絶対ニ嫌ヒ、日本人ノ移民ヲ排斥スルヤウニナツテ來ル、其根本ハ列國ニ於テ日本ニ對スル大ナル誤解不信ト猜疑ノ念ト云フモノガドウシテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲフコトガ今日ノ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ惡クシ、日本ガ列國ノ中ニ立ッテ、常ニ危險ナル好戦的若クハ侵略的國家デアルガ如ク誤解シテ居ルノデアリマス、此誤印象ヲドウシテ世界ノ人ニヨリ取去ルカ、此最モ深ク日本ヲ害スル所ノ感情ヲ如何ニシタナラバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ私ハ政府ノ當局者ガ從來爲シテ居ル所ヲ必シモ攻撃スルモノハナイガ、併ナガラテバ抜去ルコトガ出來ルカト云フコトガ、今日ノ外交ノ要綱デアルト考ヘル、之ニ付テ居リハシナカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルトキニ、日本ノ政府ノ周到ナル注意ヲ缺キ、又外交ニ對シテ、根本ノ惡思想ヲ一掃スル十分ナル手段ヲ缺イテ居リハセヌカト云フコトヲ虞レルデアリマス、日本ニ對スル此誤解ガ世界ニ於ケル日本ノ立場ヲ危クシ、日本ノ周圍ニ常ニ黒キ雲ヲ密集セシムルヤウナ原因ヲ作シテ居ルノデアル、最近米國ニ於テ計畫セラタル海軍ノ大演習ハ、殆ド半歳以上モ費ス未會有ノ大演習デアル、布哇ヲ中心トシテ米國ノ大艦隊カ太平洋ヲ舞臺トシテ此所ニ大演習ヲスルコトハ、亞米利加ニ於テ未ダ會テ無イ所ノ事柄デアッテ、サウシテ之ガ爲ニ何千方百圓ノ金ヲ費スカ知レナイノアリマス、斯業ナル事柄ハ先日外交ノ質問ガ之ニ對シテアッタヤウデアリマ

念ハ高マッテ來テ居ル、此軍備縮小ノ第二ノ會議ヲ開クト云フコトハ非常ナル困難ナシデアリ、是ガ果シテ實行サレルヤ否ヤト云フコトハ疑問アリマス、若シ此第二次ノ軍備縮小ガ實行セラレズニ不祥ニシテ不成功ニ了、タトシタナラバ、其結果ト云モノハ驚クベキ、恐ルベキ所ノ影響ヲ世界ニ與ヘルモノト考へナケレバナラス、之ニ依テ更ニ一層甚シキ軍備擴張ガ起ルカモ知レヌ、軍艦ノ製造ガ起ルカモ知レヌ、斯様ニシテ今度ノ第二次ノ軍備縮小ノ問題ハ日本ニ取テハ勿論ノコト、世界ノ平和ノ上ニ大ナル影響ヲ來スベキ問題デアルニ付テ、政府ハ之ニ對スル何等ノ考慮ヲ持テ居ルノカ、ソレヲ伺テ置キタイノデアル、第三ノ問題ハ對支問題、支那ニ對スル國策ノ一定ニ付テ、外務大臣ノ之ニ對スル意見ヲ伺テ置キタイノデアル、私ハ干涉主義ハ決シテ好ムモノデハナイ、善イ事デハナイト、第三ノ問題ハ對支問題ノ中ニ於テ、支那ニ對スルテハ干涉主義ハ宜シト思フガ、其不干涉主義ハ何所マデ支那ニ對シテ不干涉主義デ行カウトスルノデアルカ、何デモ超然主義デ行カナケレバナラナイ、何デモ構ハナイ、唯、高見ノ見物ヲシテ居レバ、宜イト云フ意味ノ不干涉主義アルナラバ、是ハ支那ニ對シテハ全ク無策無能ノ政策ト謂ハナケレバナラノデアル、御承知ノ如クニ支那革命以來煩ム時ニキ争亂、間断ナキ支那ノ擾亂ニ依テ、其間ニハ幾政變ガ支那ニ起り、或ハ其度毎ニ日本ニ於テハ或ハ袁世凱ヲ援ケル人モアリ、或ハ段祺瑞ヲ支持スル人モアリ、或ハ馮國璋ヲ援ケテヤル人モアル、南北ニ付テ云フトキニハ南方ヲ援ケテ支那ノ統一ヲ圖ラントスルト云フヤウナ、種々ナル政策ヲヤッテ來タノデアリマス、昨年ノ奉直戰爭ノ時ニ於テモ張作霖ヲ援ケヤウトスル所ノ人ガアリ、又吳

佩孚ヲ援助シヤウトル所ノ人ガアリ、支那ノ内亂ノアル度ニ日本ノ政客ハ支那ノ勢力ノ爲ニ遊説ヲシテ、東京ノ政界ハ支那ノ内亂ノ反響ヲ受ケテ、政策ハ支離滅裂ヲシテ、政治上ノ醜態外交上ノ醜態ヲ露ハシテ來テ居ルノデアル、是ガ日本ノ國ニ從來支那ニ對スル一定ノ統一シタル所ノ國策ガ樹シテ居ラナイト云フ著シキ證據デアリマス、ドウシテモ今日ハ支那ニ對シテ一定ノ國策ヲ樹テ、ヤラナケレバナラス時ガ來タルトハ宣シクハイ、不干涉主義ハ宜シイ、然ラバ不干涉主義デ唯、單ニ超然トシテ支那ノ紛亂ガ何所マデモ續キ、支那ノ擾亂ガ幾久シク續イテ居ル、其間モ断てズ傍観主義、超然主義ヲ執テ行カウト云フコトハ是ハ許サナイノデアリマス、支那ノ爲ニ圖リ、或ハ東洋ノ平和ノ爲ニ圖リ、一點私心ヲ挿マズ、支那ノ諒解或ハ列國ノ諒解ヲ得テ、支那ノ現代ヲドウシタナラバ、救フコトガ出來ヤウカ、督軍政治ヲドウシタナラバ、宜シイカ、聯邦ノ自治ハ果シテ支那ノ國情ニ適スルカ、如何ニシテ支那ノ完全ナル統一ヲ圖ルコトガ出來ルカト云フ、深切ニ支那ノ爲ニ圖リ、東洋ノ平和ノ爲ニ考ヘテ、真ニ支那ノ國策トナルベキモノヲ考へテ、サウシテ支那ノ爲ニ政府ト云ハズ、人民ト云ハズ、一定シタル對支ノ政策ヲ樹テ、之ニ向ヒテ支那ヲ救フコトヲ圖ラナケル、ニ進ンダコトハ、獨リ日本ノ爲ニ賀ス道、鑑山ノ管理デアル、隨テ又南滿洲鐵道デアリマス、隨テ起ルベキ所ノ問題ハ、必ス列國ノ共同管理ノ問題デアリマス、鐵道、鐵道ノ管理デアル、隨テ又南滿洲鐵道ノ問題モ是ト共ニ起テ來ルコトハ疑ノナシ事實デアリマス、此無限ノ富ト此無限ノ資本トガ亞米利加ノ背後ノ力ヲ持テ、政治的力ヲ擁シテ支那ニ來タル時ニ於テ、日本ガ今日ノヤウヤ態度ヲ持スルト云フコトハ出來ナイノハ明カナ事實デアリマス、日本ガ今日ノヤウナ態度デ居タナラバ、是ハ勢ヒ此亞米利加ノ資本的帝國主義ノ勢力ノ下ニ屈服ヲ餘儀ナクサレナケレバナラス時ガ來ルノデアリマス、故ニ今日ニ於テマダ其機運ガ熟セナイ先ニ於テ、日本ガ進ンデ、亞米利加ト協調シ、亞米利加ト此方面ニ向テ手ヲ携へテ公平ニ平和ノ裡ニ東洋ノ問題ヲ解決シ、支那ノ百年ノ泰平ヲ築上ゲルコトヲ亞米利加ト共ニ諒解ヲ得ルコトニシタナラバ、出來ナイコトハナイト思フノデアリマス、唯、漫然トシテ此勢ヲ見、唯ニ漫然トシテ支那ニ於ケル大勢ヲ考へテ居タトキニハ、將來ニ於テ日本ノ立場ハ、支那ニ於テモ亦全ク因襲セザルヲ得ナイ時ガ來ルヲ信ズルノデアリマス、故ニ二政府ノ人民協力シテ此國策ヲ樹テ、支那ニ忠義シ、或ハ指導シ、列國ノ諒解ヲ得テ、支那ノ現代ノ不安ナル

テ來ルト、何時マデ經ツテモ支那ノ混沌ヲ免レナイ、日本人若クハ日本ノ政府ハ國論ヲ一定シ、總テ朝野ノ議論ヲ繚メテ、ドウスルノガ一番支那ヲ救フ所以デアルカ、今ノ督軍政治ガ弊害ノ根源デアルナラバ、之ヲ改ムベキ所ノ方法ヲ考へ、又支那ノ聯邦自治ガ支那國民ノ輿論デアリ、希望デアルナラバ、ソレニ向ヒテ援ケル方法ヲ講スル、何ニシテモ日本ガ一定シタル所ノ國策ヲ樹テ、支那ヲ救フト云フコトヲ考へナケレバナラナイ時ガ來タト思フノデアリマス、殊ニ此度ノ大戰爭後ニ於ケル所ノ世界ノ形勢ヲ考へテ見タラバ、亞米利加ガ其巨樹テ、支那ヲ救フト云フコトヲ考へナケレバナラナイ時ガ來タト思フノデアリマス、殊ニ此度ノ大戰爭後ニ於ケル所ノ世界ノ形勢ヲ考へテ見タラバ、亞米利加ガ其巨樹テ、支那ヲ救フト云フコトヲ考へナケレバナラナイ時ガ來タ所ノ世ノヨリシテ唱ヘテ居タ所ノ持得タノデアル、日露兩國ノ外交ノ成功トシテ是ハ祝セザルヲ得ナイト思フノデアリマス、吾々ハ露國ヲ速ニ承認セヨト云フコトハ、數年前ヨリシテ唱ヘテ居タ所ノ持論デハアルガ、今日多クノ懸案ヲ解決セラレ、兩國ノ間ニ蟠ツテ居タ所ノ種々ノ問題モ無事ニ解決セラレテ、茲ニ兩國が調印ヲスルニ進ンダコトハ、獨リ日本ノ爲ニ賀スベキノミナラズ、露西亞ノ爲ニモ亦是ハ幸事デアル而シテ今度ノ日露條約ノ中ニ、一ツ最モ重要觀シスベキ所ノ條項ガ舍マレテ居ルト思フ、ソレハ日露兩國ハ條約ニ於テ兩締約國ノ不利益トナル取決メハ、第三國ト爲サナイト云フ條約デアル、私ハマダ本條項ヲ見ナインデ、之ヲ明瞭ニ論ズルコトハ出來ナイガ、斯様ナル條項ガ存在スルコトハ、夙ニ佛蘭西ノ「ル、タン」新聞ノ盛ニ論ブル所デアリテ、サウシテ今度ノ日露條約ニ於テ、最モ重要ナル點トシテ之ヲ舉ゲテ居ルノデアリマス、此條項ガ果シテ日露條約ノ中ニ含マレテ居ルモノトスルナラバ、詰リ日本ナリ露西亞ナリニ不利益ナル事柄ハ、第三國ト條約ヲ取決メナイト云フ意味デアルガ、是ハ取モ直サズ消極的ニ日露條約ノ條項デアリマス、攻守同盟ノ意味ガ含マレテ居ルノデアリマス、私ハ此日露兩國が深ク提携ヲシテ、消極的ニ此點ニマデ進ンデ來タナラバ、更ニモウ一步進ンデ積極的ニ此日露ノアンシタン、コーザル」の三此日露ノアシタン、コーザル」ヲ締結スルト云フマデニ進マナケレバナラント考ヘルノデアル、當局外務大臣ハ之ニ

對シテドウ云フ考ヲ持タレテ居ルカ、此條項ハ既ニ消極的ニ一部ノ攻守同盟ヲ形造テ居ルナラバ、更ニ一步進ンデ積極的ニ之ヲモウ少シ發展ヲ圖ツテ行方ガ兩國ノ利益デアルト思フ、第一ニ考ヘナケレバナラス事ハ、吾々ハ人種的ニ於テモ、露西亞ト同盟ヲ爲シ得ル共通ノ利益ヲ持テ居ル立場ニ立ツテ居ル、今日ハ國際上ニ於テ非常ニ人種ノ觀念、人種ノ思想ト云フモノガナル外交上ノ要素ニナツテ來ルコトハ諸君ノ御承知ノ通リデアル、世界戰爭ノ時ニ於テ「アングロ・サクソン」人種ハ皆ナ團結二人種ノ觀念、人種ノ思想ト云フモノガナル外交上ノ要素ニナツテ來ルコトハ諸君ノ御承知ノ通リデアル、世界戰爭ノ時ニ於テ「アングロ・サクソン」人種ハ皆ナ團結シテ「アングロ・サクソン」ノ聯盟ヲ造り、「ゼルマン」人種ハ皆ナ「ゼルマン」人種ト結著キ、「ラテン」人種ハ皆ナ「ラテン」人種ト結ブヤウニ、外交上ニ於ケル人種的觀念、人種的思想ガ著シク濃厚トナツテ來タコトハ最近ノ事實デアル、此人種聯盟ノ思想ノ勃興其抵抗ニ於テハドウシテモ人種問題ノ觀念デアル、「アングロ・サクソン」ノ人種ガ東洋ノ民族ト聯盟スルコトノ、世界ニ於ケル立場ガ之ヲ許サナイト云フ時代ガ來タノデアル、斯様ニ考ヘル時ニ於テ「スラブ」人種ト云フ露西亞人ガ、是ハ亞細亞民族ノ血族デアル、吾々ト共通スル所ノ人種の一ツノ靈犀相通ズル思想觀念ヲ持テ居ル、此スラブ人種ト東洋ノ人種ガ聯盟ヲシ同盟ヲスルト云フコトハ、現代ノ人種的觀念ノ盛ニナッテ來タ時代ニ於テ、同盟ノ基礎トシテ此人種的觀念ガ餘程大ナル力ヲ持テ居ルコトヲ考ヘ日本ト露西亞ガ將來ニ於テ、又進ンデ現代ニ於テ手ヲ握ルベキ所ノ重大ナル要素ト考ヘナケレバナラナイ點テアルト思フノデアリマス、又地理的ニ言ツタナラバ、僅ニ一衣帶水ノ日本海ヲ挟ンデ、此露西亞ト日本ガ非常ナル親密ナル地理上ノ關係ヲ持テ、此大陸ト日本ガ手ヲ握ルト云フコトハ有ユル方面ニ於テ非常ナル利益ヲ得ルコト、考ヘルノデアリマス、更ニ進ンデ經濟上ノ問題カラ言ツテ見タナラバ、著

吾ハ現代亞米利加ヨリ一億圓内外ノ材木ヲ輸入シテ居ルガ、此西伯利ノ富源ヲ開發スルトキニ於テハ、總テ是等ノ生活ニ必要ナル原料ハ西伯利ヨリ之ヲ得ルコトガ出來ル亞米利加カラ得ル所ノ一億圓位デハナリ、更ニ莫大ナル經濟的益ヲ得ルコトガ出來ルト思ヒマス、又北海ニ於ケル漁業ノ如キ、又廣漠タル露西亞ノ數千里限リナキ所ノ原野、農業ノ如キハ日本人ノ將來ノ開發ヲ待テ居ル斯様ニ露西亞ト提携シ、更ニ進ンデ同盟ヲ結フダケノ要素ハ幾ラモアルト思ヒマス、ケレドモ茲ニ昨日ノ豫算委員會ナドニ於テモ議論ガ出タヤウデアルガ、露西亞ト結フコトガ政治上ニ於テドウカ「ソヴェット」露西亞ト日本ガ手ヲ握ルト云フコトハ危険デアル、日本ガ亦化スル憂ガアルト云フヤウナ議論ガ、尙ホ國民ノ一部ニアルト云フコトヲ見ルノデアリマス、併ナガラ是程愚ナル考ハナイト思フ「ソヴェット」露西亞ト提携スルコトハ何等國民ニ對シテ危険ハ無イ、憂フベキコトハ無イト信スル、日本ノ國民ハ政治上ニ於テ他國ノ感化ヲ受け、之ガ爲二國ノ基礎ヲ危ウスルト云フヤウナ憂ハ少シモ無イコトヲ信スルノデアリマス、日本國民ノ二千五百年傳統的強キ精神ハ、斯様ナル今日ノ露西亞ノ思想位ニ感化セラレルト云フヤウナ憂ハ寸分モ無イコトヲ保證スルノデアリマス、諸君、吾々ノ祖先ハ三千年前ニヤツテ居ルノデアル（拍手）吾々ノ祖先ハ偉大ナル同化ノ力ヲ持テ居ル、露西亞ノ「ソヴェット」ノ思想ノ如キ恐れ、ニ足ラナイ、數千年前ニ於テ我國ガマダ基礎ガ鞏固デナイ時ニ、印度ヨリシテ佛教ノ「ニヒリズム」ノ說ガ入テ來タ時ハド來シタケレドモ、忽チニシテ此佛教ノ印度思想ヲ日本ハ消化シテシマツタデハナリマス（拍手）斯様ニシテ吾々ハ考ヘテ見テ、ドウシテモ日本ノ今日ノ立場ハ經濟上ノ落ルナ憂フル所ノ杞人ノ夢ノ如キモノデアリマス（拍手）斯様ニシテ吾々ハ考ヘテ見テ、ドウシテモ日本ノ今日ノ立場ハ經濟上カラ云ツテモ、又人種上カラ云ツテモ、露西亚更ニ一步進ンデ茲ニ「アンタント、コロナーデアル」ヲ結ンダ爲ニ日本ガ亦化セラレテ、遂ニ日本民族ガ滅亡セラル、デアラウト云フヤウナ憂ヲ懷ク者ガアルナラバ、是ハ天アリマス（拍手）斯様ニシテ吾々ハ考ヘテ見テ、ドウシテモ日本ノ今日ノ立場ハ經濟上カラ云ツテモ、又人種上カラ云ツテモ、露西亚更ニ一步進ンデ茲ニ「アンタント、コロナーデアル」ヲ結ヒ、サウシテ世界ニ於ケル日本ノ外交上ノ立場ヲ建設スルコトヲ考ヘナラヌ時デアラウト思フ、更ニ

シキ所ノ利益、露西亞ト手ヲ握ルコトノ大ナル利益ヲ持テ居ルト思フノデアリマス、西伯利ハ無限ノ大森林國デアル、此無限ノ森林國ハ世界ニ無イ所ノ材木ノ供給、吾吾ハ現代亞米利加ヨリ一億圓内外ノ材木ヲ輸入シテ居ルガ、此西伯利ノ富源ヲ開發スルトキニ於テハ、總テ是等ノ生活ニ必要ナル原料ハ西伯利ヨリ之ヲ得ルコトガ出來ル亞米利加カラ得ル所ノ一億圓位デハナリ、更ニ莫大ナル經濟的益ヲ得ルコトガ出來ルト思ヒマス、又北海ニ於ケル漁業ノ如キ、又廣漠タル露西亞ノ數千里限リナキ所ノ原野、農業ノ如キハ日本人ノ將來ノ開發ヲ待テ居ル斯様ニ露西亞ト提携シ、更ニ進ンデ同盟ヲ結フダケノ要素ハ幾ラモアルト思ヒマス、ケレドモ茲ニ昨日ノ豫算委員會ナドニ於テモ議論ガ出タヤウデアルガ、露西亞ト結フコトガ政治上ニ於テドウカ「ソヴェット」露西亞ト日本ガ手ヲ握ルト云フコトハ危険デアル、日本ガ亦化スル憂ガアルト云フヤウナ議論ガ、尙ホ國民ノ一部ニアルト云フコトヲ見ルノデアリマス、併ナガラ是程愚ナル考ハナイト思フ「ソヴェット」露西亞ト提携スルコトハ何等國民ニ對シテ危険ハ無イ、憂フベキコトハ無イト信スル、日本ノ國民ハ政治上ニ於テ他國ノ感化ヲ受け、之ガ爲二國ノ基礎ヲ危ウスルト云フヤウナ憂ハ少シモ無イコトヲ信スルノデアリマス、日本國民ノ二千五百年傳統的強キ精神ハ、斯様ナル今日ノ露西亞ノ思想位ニ感化セラレルト云フヤウナ憂ハ寸分モ無イコトヲ保證スルノデアリマス、諸君、吾々ノ祖先ハ三千年前ニヤツテ居ルノデアル（拍手）吾々ノ祖先ハ偉大ナル同化ノ力ヲ持テ居ル、露西亞ノ「ソヴェット」ノ思想位ニ對シテ慎重ニ政府ニ於テモ考ヘラレ、總理大臣若ハ外務大臣ガ、タイノデアリマス、私ハ此問題ハ實ニ政黨派ノ問題デナクシテ、眞ニ國策ノ問題デアル、サウシテ、之ニ對シテ慎重ニ政府ニ於テモ考ヘラレ、總理大臣若ハ外務大臣ガ、之ニ就テ必シモ此席デナクシテモ宜シイ、御考ニナツタ上デ、篤ト之ニ對スル御答辯ヲ願ヒタイト思イマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）中村政務次官
（政府委員中村義三君登壇）
○政府委員（中村義三君）本日外務大臣ハ貴族院ノ方ニ是非居ラナケレバナリマセヌノデ、此方ニ出ルコトガ出来マセヌデ甚ダ遺憾デアリマス、只今ノ御質問ニ對シマシテ私カラ大體御答ヲシタイト思ヒマス、第一問ハ日本ノ國際的現状ニ對シマシテ、松本君ハ非常ニ憂慮ノ情ヲ述べラレマシテ、外務大臣ハ曩ニ日本ト列國トノ關係ハ頗ル順調

ニアルト言ウタケレドモ、事實ハサウ云フ
風ニ見エナイ、例へバ布哇方面ニ於ケル米
國海軍ノ大演習ノ催シノ如キ、或ハ英國ノ
計畫ニ係ル新嘉坡ノ海軍根據地問題ノ如キ
モノモ、畢竟スルニ日本ト列國トノ諒解ガ
能ク出來テ居ナイ結果デナイカト、斯ウ云
フ風ニ御見解ニナツテ居タヤウニ諒解致シ
マシタカ、私共ノ諒解致シテ居リマスル所
ハ、全ク松本君ノ御説トハ違テ居リマ
ス、日本ト列國ノ關係ハ事實上洵ニ良好ノ
狀態ニ在ルノデゴザイマス、米國ノ海軍
大演習、又ハ英國ノ新嘉坡海軍根據地建設
ノ如キモノハ、日本ト英米兩國ノ間ニ誤解
ガ存在シマシタ結果トシテ生ジタモノデハ
アリマセヌ、併シ松本君ノ御述ニナツタ如
ク、國際間ニハ誤解ガアッテハナラヌ、苟
モ誤解ガ存在スルナラバ、政府ノ局ニ當
ル者ハ極力之ヲ芟除スルコトニ努メナケレ
バナラヌト云フ點ニ對シテハ全然御同感デア
リマス、故ニ國際關係ニ於キマシテ如何ナ
ル方面ヲ論ゼズ、苟モ誤解ノ存在ガアルト
云フコトヲ認メマスレバ、政府ハ之ニ對シ
マシテ常ニ深甚ナル注意ヲ拂シテ、此誤解
ノ消滅方ニ對シテ努力致シツ、アル次
第ゴザイマス、第一ニ軍縮會議ニ付テノ
御質問デゴザイマシタカ、帝國政府ノ軍縮
會議ニ對シマスル意向ハ、曩ニ國際聯盟ニ
於キマシテ本年五月軍縮會議開催ノ議ヲ決
シマスル際ニ、政府ハ既ニ趣旨ニ於テ之ニ
賛成ノ意ヲ表シテ居リマス、併シ松本君ノ
御質問ハ、米國政府ガ軍縮會議ヲ開催スル
ニ方ノ、帝國政府ハ之ニ對シテ付キ云フ
態度ヲ執ルカト云フコトノ御質問デアン
ヤウニ思ヒマス、米國政府ガ果シテ何時軍
縮會議ヲ開催セラル、カト云フコトニ付キ
マシテハ、何等徹底シタ報道ニハ接シマセ
ス、併シ米國大統領ハ、若シ國際聯盟ノ豫定
シタル軍縮會議ガ實行セラレザル場合ニ
ハ、米國ニ於テ軍縮會議ヲ開カウト云フ說
が非常ニ有力デアルコトハ事實デゴザイマ
ス、併シ此軍縮問題ハ帝國ニ取リマシテ非
常ニ重要ノ問題デゴザイマスガ故ニ、將來
若シ米國ニ於テ此軍縮會議ヲ開催スルト云

フコトニナリマシタ曉ニ於テ、其會議ノ目
的、範圍、程度ノ如何ヲ見タ上デ慎重ニ攻究
ヲ遂ゲルニアラザレバ、豫メ之ニ對シテ贊否
ノ意見ヲ表示スルコトハ不可能デアラウト
思フノデゴザイマス、第三ハ支那問題ニ付
キマシテ、現政府ハ支那問題ニ付テ内政不
干渉主義ヲ執テ來テ居ル、不干涉主義ハ
宜シイケレドモ、絕對ニ之ヲ行フ場合ニハ
無爲無策ニ陥ル、無爲無策デアッテハナラ
ス、ドウスル積リデアルカト云フ御質問デ
アッタヤウニ諒解致シマスル、對支問題ニ
付キマシテハ、先般ノ外務大臣ノ御演説中
ニ十分ニ政府ノ態度ヲ説明サレテ居ルヤウ
ニ存ジマス、唯、此際一言聲明致シテ置キ
タイ事ハ、政府ガ今日マデ支那問題ニ關シ
テ執リ來リツ、アル内政不干涉ト云フコト
ハ、無爲無策ト云フコトデハゴザイマセ
ス、今日ノ如ク支那ガ混亂ノ狀態ニ在リマ
ス間ハ、支那ノ事ハ支那人自ラ之ヲ解決セ
シムルト云フコトガ、獨リ支那ニ取テノ
ミナラズ、吾々ニ取りマシテモ、自他ノ爲
ニ此政策ガ最良デアルト信ズルガ故ニ、此
方法ヲ執リテ來タモノデアル、併シ若シ支
那ノ狀態ガ安定シマシテ、政府ノ基礎ガ鞏
固ナルモノガ出來マシタナラバ、政府ニ於
キマシテハ支那ニ重大ナル利害關係ヲ持
ニ非ズシテ、同時ニ支那ノ經濟ニ付テモ相
互ニ研究スベキコトガ約束セラレテ居ル所ノ
一ノ經濟會議デアリマス、此關稅會議ハ
單ニ支那ノ關稅ノ增加ヲ列國ガ認ムル會議
ガ外務當局者ハ支那ノ爲ニ此關稅會議ガ
ハンドスル所ハ、此關稅會議ガ何故ニ今日
マデ開催サレナナイカト云フ點デハナイノデ
ナテ居ルコトヲ固ク信ズル者デアリマス、
故ニ私ガ茲ニ總理大臣ニ向シテ御意見ヲ伺
ハンドスル所ハ、此關稅會議ガ何故ニ今日
マデ開催サレナナイカト云フ點デハナイノデ
ナテ居ルコトヲ固ク信ズル者デアリマス、
アリマス、私ハ我ガ帝國ハ今一步進ンデ支
那ノ財政ヲ援助スベク、何故ニ積極的ノ外
交ヲ御執リニナラヌカト云フ點デハナイノデ
ナテ居ルカニ付テ、我ガ帝國ノ外交ハ盡力スベ
キモノデナイカト信ズルノデアリマス、次ニ私ガ總
理大臣ニ御伺シタインハ綱紀肅正ノ問題ニ
付テ、アリマス、總理大臣ハ我ガ國風教、
道德ノ日ニ衰頽スルヲ憂ヒラレ、綱紀肅正
ハ我ガ帝國ハ宣シク進ンデ支那ノ財政ヲ
援助スベキモノデアルト信ズルノデアリマ
ス、(拍手)諸君、又私ハ大正八年米國華盛頓
ニ開カレタル所ノ第一回ノ勞働會議ニ臨ミ
ハ、今回ノ日露協約ハ日露兩國ノ國交ヲ回

○武藤山治君 總理大臣並ニ大藏大臣ニ
向シテ質問申上げマス、私ガ第一ニ私ノ見
ル所ヲ申上げテ總理大臣ノ御意見ヲ伺ハン
トスルノハ、經濟上ヨリ見タル支那ニ對ス
ル我が外交ノ問題ニ付テアリマス、諸君
ノ御承知ノ通り、大正十年米國ニ開カレタ
軍備縮少會議ノ席上ニ於テ、支那委員ノ
建議ヲ容レテ、支那ニ於テ關稅會議ヲ開催
スルコトニ決議ニナツテ居ルノデアリマス、
然ルニ此關稅會議ハ今日マデ開催サレズニ
經過シテ居ルノデアリマス、此關稅會議ハ
ニ非ズシテ、同時ニ支那ノ經濟ニ付テモ相
互ニ研究スベキコトガ約束セラレテ居ル所ノ
一ノ經濟會議デアリマス、此關稅會議ハ
單ニ支那ノ關稅ノ增加ヲ列國ガ認ムル會議
ガ外務當局者ハ支那ノ爲ニ此關稅會議ガ
ハンドスル所ハ、此關稅會議ガ何故ニ今日
マデ開催サレナナイカト云フ點デハナイノデ
ナテ居ルコトヲ固ク信ズル者デアリマス、
アリマス、私ハ我ガ帝國ハ今一步進ンデ支
那ノ財政ヲ援助スベク、何故ニ積極的ノ外
交ヲ御執リニナラヌカト云フ點デハナイノデ
ナテ居ルカニ付テ、我ガ帝國ノ外交ハ盡力スベ
キモノデナイカト信ズルノデアリマス、次ニ私ガ總
理大臣ニ御伺シタインハ綱紀肅正ノ問題ニ
付テ、アリマス、總理大臣ハ我ガ國風教、
道德ノ日ニ衰頽スルヲ憂ヒラレ、綱紀肅正
ハ吾々モ認ムル者デアリマス、併ナガラ總
理大臣ハ此綱紀ヲ肅正スベキ所ノモ根本

マシテ、其席上ニ於テ支那ノ委員ダ、治外
法權ニ對シテ訴ヘラレタ所ノ言葉ヲ今日マ
デモ記憶シテ居ルノデアリマス、支那ガ治
外法權ノ下ニ苦メラレテ、支那ノ法權ガ居
留地内ニ及バスト云フ點ニ付テ、支那ノ委
員ハ列國ノ委員ニ訴ヘラレタノデアリマス、
而シテ、支那ガ此治外法權ノ爲ニ苦シニ居
ルト云フコトニ付テ支那ニ同情ヲ有スルモ
ノハ、此治外法權ノ爲ニ多年苦シ我ガ帝
國デナケレバナラヌト私ハ信ズルノデアリ
マス、故ニ我ガ帝國ハ宜シク支那ノ財政ヲ
援助シ、支那ノ爲ニ一日モ早ク治外法權ヲ
撤去セシムコトニ付キ、我ガ帝國ハ援
助ヲ與フベキモノデナクト思フノデアリ
マス、果シテ然リト致シマスレバ、私ハ我
ガ帝國政府ハ今一步進ンデ支那ノ財政ヲ援
助シ、支那ノ經濟ノ發展ニ資スルカ爲ニ、
支那政府及英、米、佛等ノ諒解ヲ得テ、我
ガ東京ニ於テ一ノ私ハ財政會議ヲ開催
スル所ノ提議ヲ爲サレテハ如何カト思フノ
デアリマス、(拍手)御承知ノ通り此度ノ大
戰爭ハ世界ノ經濟ヲ全ク覆シ、今ヤ米國ハ
大富強ノ國トナリテ、昨年中米國ガ外國ニ
投ジタ金額ノミニテモ二十億圓ノ多キニ達
シタノデアリマス、而シテ是等ノ多大ノ資
本ハ皆ナ歐洲ニ流レツ、アルノデアリマ
ス、吾々ハ宜シク此資本ヲ亞細亞ニ引入レ
ルコトニ付テ、我ガ帝國ノ外交ハ盡力スベ
キモノデナイカト信ズルノデアリマス、故
ニ私ハ此點ニ付テ總理大臣ガ如何ニ御考ニ
ナツテ居ルカニ付テ、御意見ヲ御漏シ下サレ
バ仕合ト考ヘル者デアリマス、次ニ私ガ總
理大臣ニ御伺シタインハ綱紀肅正ノ問題ニ
付テ、アリマス、總理大臣ハ我ガ國風教、
道德ノ日ニ衰頽スルヲ憂ヒラレ、綱紀肅正
ハ吾々モ認ムル者デアリマス、併ナガラ總
理大臣ハ此綱紀ヲ肅正スベキ所ノモ根本

行政ヲ整理シテ其辻合ハセルニ至ラレ
タト云フコトハ、是ハ吾々トシテ認メタケ
レバナラヌト思フノデアリマス、併ナガラ
彼ノ英國ノ藏相「スノーデン」辭職後、僅カ
數週間ニシテモ尙未議會ニ提案シタ所ノ豫
算案ニ對シテ、歲計ノ五分、四億圓迄モ減縮
シテ、茶ヤ「ヨーヒー」ヤ國民總テノ階級ニ
瓦リ減稅ノ恩典ヲ與ヘタト云フ此「スノーデ
ン」藏相ノ爲シタ所カラ見マスレバ、私
ハ遙ニ大ナル距離ガアルト思フノデアリマ
ス、併ナガラ我ガ財政ノ紊亂セルコトハ、
英國ノ財政ノ如ク整理シテ居ラチカラタモ
ノト考ヘマスレバ、此紊亂セル財政行政ヲ
整理サレタ所ノ濱口藏相ノ功ハ、是ハ偉大
ナリト私ハ信ズルノデアリマス(ヒヤー)
併ナガラ私ハ之ヲ以テ濱口藏相ガ序幕ニア
ルト仰セラレズシテ、是ニテ打切デアルト
云フコトヲ仰セテル、ナラバ反對デアリマ
ス、濱口藏相ハ私ハ必ヤ更ニ大ナル努力ヲ
加ヘラレテ、來年ノ通常議會ニハ彼ノ「ス
ノーデン」ガ四億圓減ジタ如ク、少クモ一
億五千万ヤニ層圓ヲ減ジ、吾々國民各階級
ニ瓦リ減稅ノ恩典ヲ蒙リタトイ云フコトヲ
考ヘル者デアリマス、故ニ私ハ此點ニ付テ
ハ濱口藏相ノ一層ノ御努力ヲ希望スルニ止
メマシテ、是ヨリ金解禁ノ問題ニ付テ御尋
考ヘル者デアリマス(拍手)金解禁ノ問題ニ關聯シテ
二十四日ノ議場ニ於テ濱口藏相ハ政黨政派
ヲ超越スベキコトヲ求メラレタノデアリマ
シタ、私ハ之ヲ最モ感服致ス、デアリマ
ス、經濟上ノ問題ハ政黨政派ヲ超越シナシテ
レバナリマセヌ、併ナガラ濱口藏相ハ、口
ニ經濟上ノ問題ハ政黨ヲ超越セんコトヲ求
メマシテ、此法案中ノ或種ノ品目ニ
ウ「ヒヤー」(拍手)茲ニ一例ヲ舉ゲテ申シ
マスレバ、昨年ノ特別議會ニ於テ奢侈品ノ
輸入稅ニ關スル法案ヲ濱口藏相ハ提案サレ
タノデアリマス、此法案中ノ或種ノ品目ニ
付テハ、與黨三派諸君ノ中ニモ、又在野黨
ノ中ニモ修正ヲ求メラレントシテ居タル
デアリマス、然ルニ濱口君ハ——濱口藏相

ハ之ヲ經濟上ノ問題デアリ、政黨政派ヲ超
越スル問題トサレナカタト云フコトハ、
算案ニ對シテ、歲計ノ五分、四億圓迄モ減縮
シテ、茶ヤ「ヨーヒー」ヤ國民總テノ階級ニ
瓦リ減稅ノ恩典ヲ與ヘタト云フ此「スノーデ
ン」藏相ノ爲シタ所カラ見マスレバ、私
ハ遙ニ大ナル距離ガアルト思フノデアリマ
ス、併ナガラ我ガ財政ノ紊亂セルコトハ、
英國ノ財政ノ如ク整理シテ居ラチカラタモ
ノト考ヘマスレバ、此紊亂セル財政行政ヲ
整理サレタ所ノ濱口藏相ノ功ハ、是ハ偉大
ナリト私ハ信ズルノデアリマス(ヒヤー)
併ナガラ私ハ之ヲ以テ濱口藏相ガ序幕ニア
ルト仰セラレズシテ、是ニテ打切デアルト
云フコトヲ仰セテル、ナラバ反對デアリマ
ス、濱口藏相ハ私ハ必ヤ更ニ大ナル努力ヲ
加ヘラレテ、來年ノ通常議會ニハ彼ノ「ス
ノーデン」ガ四億圓減ジタ如ク、少クモ一
億五千万ヤニ層圓ヲ減ジ、吾々國民各階級
ニ瓦リ減稅ノ恩典ヲ蒙リタトイ云フコトヲ
考ヘル者デアリマス、故ニ私ハ此點ニ付テ
ハ濱口藏相ノ一層ノ御努力ヲ希望スルニ止
メマシテ、是ヨリ金解禁ノ問題ニ付テ御尋
考ヘル者デアリマス(拍手)金解禁ノ問題ニ關聯シテ
二十四日ノ議場ニ於テ濱口藏相ハ政黨政派
ヲ超越スベキコトヲ求メラレタノデアリマ
シタ、私ハ之ヲ最モ感服致ス、デアリマ
ス、經濟上ノ問題ハ政黨政派ヲ超越シナシテ
レバナリマセヌ、併ナガラ濱口藏相ハ、口
ニ經濟上ノ問題ハ政黨ヲ超越セんコトヲ求
メマシテ、此法案中ノ或種ノ品目ニ
ウ「ヒヤー」(拍手)茲ニ一例ヲ舉ゲテ申シ
マスレバ、昨年ノ特別議會ニ於テ奢侈品ノ
輸入稅ニ關スル法案ヲ濱口藏相ハ提案サレ
タノデアリマス、此法案中ノ或種ノ品目ニ
付テハ、與黨三派諸君ノ中ニモ、又在野黨
ノ中ニモ修正ヲ求メラレントシテ居タル
デアリマス、然ルニ濱口君ハ——濱口藏相

於テ種々ノ方策ヲ施シテ爲替相場回復ニ努
ムベキコトヲ明言セラレタノデアリマス、
然ルニ其後爲替ハ回復セズシテ反対ニ下落
致シタノデアリマス(拍手)濱口藏相ノ財政方針
ノ中ニ御示シニナタ所ノ爲替回復ノ根本
方針ナルモノヲ承テ見マスルト云アト、
是ハ爲替回復ニ對スル根本の方策デハナイ
ノデアリマス、恰モ病人ニ對シ醫者ガ衛生
論ヲシテ居ルト同様デアリマス(拍手)我ガ
國民經濟ハ今ヤ病氣ニ罹テ居ルノデアリ
マシテ、大藏大臣ト云フ此名醫ノ治療方法
ヲ承ランコトヲ國民ハ望シテ居ルノデアリ
マス(ヒヤー)然ルニ此病苦ニ惱シテ居ル
ニシテ眞ニ金解禁問題ヲシテ重大ナル國民
經濟上ノ問題トシ、政黨政派ヲ超越スベシ
ト御考ニナルナラバ、何故ニ此問題ヲ獨斷
的ニ定メズシテ、吾々國民ヲ代表シテ居ル
此議場ニ向テ其可否ヲ問ハレナインデア
リマセウカ(ヒヤー)(拍手)濱口藏相ハ之
ヲ獨斷的ニ金ノ解禁ヲ不可ナリト定メ、政
黨政派ヲ超越シテ居ラル、ニモ拘ラズ、之
ヲ提倡スル吾々ノミニ向テ其非ヲ責メラ
ル、ト云フコトハ酷デハナイカト思フノデ
アリマス(ヒヤー)(拍手)併ナガラ此問題
ヲ御示シテハ、衛生論ヨリモ治療方法ヲ藏相
ヨリ聽カンコトヲ求メテ居ルノデアリマ
ス、故ニ私ハ藏相ガ今少シク今日ノ下落セ
ル爲替ヲ回復スル根本的有意義ノ治療方法
ヲ御示シテハ、衛生論ヨリモ治療方法ヲ藏相
ヨリ聽カンコトヲ求メテ居ルノデアリマ
ス、故ニ私ハ藏相ガ今少シク今日ノ下落セ
ル爲替ヲ回復スル根本的有意義ノ治療方法
ヲ御示シテハ、衛生論ヨリモ治療方法ヲ藏相
ヨリ聽カンコトヲ求メテ居ルノデアリマ
ス、故ニ私ハ藏相ニ申上ダタイノハ、藏相ハ輸
入業者ト云フモノ、實情ヲ十分ニ御理解ニ
ナフテ居ラヌトスウ思フノデアリマス、輸
入業者ニモ二種類アリマス、第一ハ思惑ヲ
スル輸入業者デアリマス、第二ハ眞面目ナ
輸入業者デアリマス、先日此議場ニ於テ此
金解禁ノ問題ノ論議ノアタ節ニ、ドナタ
カ三菱ト云フコトヲ仰シヤタ方ガアリマ
ス、三菱ヤ三井ノ如キ眞面目ナ輸入業者ハ
思惑ヲ毫モ爲サヌノデアリマス、之ニ反シテ思惑ヲ
ニ爲替カ上リマシテモ、三井
ヤ三井ノ如キ眞面目ナ輸入業者ハ寸分ノ損
害ヲ被ラヌノデアリマス、之ニ反シテ思惑ヲ
スル輸入業者ハ爲替相場ノ上下ニ依テ儲
ケタリ損ヲシタリスルノデアリマス、藏相
ガ金ノ解禁シテ、爲替ガ回復シテ、ソレガ
爲ニ惜ムベシト最モ憂ヘラレル輸入業者
ハ、思惑ヲスル輸入業者デアリマス、吾々
ハ我が財界ノ安定ノ爲ニ思惑ヲ常ニ爲シ
トシテ吾々ニ大ナル恐怖ヲ與ヘラレタノデ

時ハ國家社會主義ニ依シテ保護ヲ受ケヤウ
トスルヤウナ此思惑ヲ常ニスル所ノ商人
ハ、寧ロ私ハ無クナランコトヲ望ムノデア
リマス(拍手)濱口藏相ハ若シ一タビ金ヲ解
禁シタナラバ、輸入業者ハ大迷惑ヲ受ケ、
隨テ我ガ經濟組織ハ破壊サレルヤウナ非常
ニ御葉ヲ御使ヒニナリマスガ、決シテ一
方針ナルモノヲ承テ見マスルト云アト、
是ハ爲替回復ニ對スル根本的方策デハナイ
ノデアリマス、恰モ病人ニ對シ醫者ガ衛生
論ヲシテ居ルト同様デアリマス(拍手)我ガ
國民經濟ハ今ヤ病氣ニ罹テ居ルノデアリ
マシテ、大藏大臣ト云フ此名醫ノ治療方法
ヲ承ランコトヲ國民ハ望シテ居ルノデアリ
マス(ヒヤー)然ルニ此病苦ニ惱シテ居ル
ニシテ眞ニ金解禁問題ヲシテ重大ナル國民
經濟上ノ問題トシ、政黨政派ヲ超越スベシ
ト御考ニナルナラバ、何故ニ此問題ヲ獨斷
的ニ定メズシテ、吾々國民ヲ代表シテ居ル
此議場ニ向テ其可否ヲ問ハレナインデア
リマセウカ(ヒヤー)(拍手)濱口藏相ハ之
ヲ獨斷的ニ金ノ解禁ヲ不可ナリト定メ、政
黨政派ヲ超越シテ居ラル、ニモ拘ラズ、之
ヲ提倡スル吾々ノミニ向テ其非ヲ責メラ
ル、ト云フコトハ酷デハナイカト思フノデ
アリマス(ヒヤー)(拍手)併ナガラ此問題
ヲ御示シテハ、衛生論ヨリモ治療方法ヲ藏相
ヨリ聽カンコトヲ求メテ居ルノデアリマ
ス、故ニ私ハ藏相ニ申上ダタイノハ、藏相ハ輸
入業者ト云フモノ、實情ヲ十分ニ御理解ニ
ナフテ居ラヌトスウ思フノデアリマス、輸
入業者ニモ二種類アリマス、第一ハ思惑ヲ
スル輸入業者デアリマス、第二ハ眞面目ナ
輸入業者デアリマス、先日此議場ニ於テ此
金解禁ノ問題ノ論議ノアタ節ニ、ドナタ
カ三菱ト云フコトヲ仰シヤタ方ガアリマ
ス、三菱ヤ三井ノ如キ眞面目ナ輸入業者ハ
思惑ヲ毫モ爲サヌノデアリマス、之ニ反シテ思惑ヲ
ニ爲替カ上リマシテモ、三井
ヤ三井ノ如キ眞面目ナ輸入業者ハ寸分ノ損
害ヲ被ラヌノデアリマス、之ニ反シテ思惑ヲ
スル輸入業者ハ爲替相場ノ上下ニ依テ儲
ケタリ損ヲシタリスルノデアリマス、藏相
ガ金ノ解禁シテ、爲替ガ回復シテ、ソレガ
爲ニ惜ムベシト最モ憂ヘラレル輸入業者
ハ、思惑ヲスル輸入業者デアリマス、吾々
ハ我が財界ノ安定ノ爲ニ思惑ヲ常ニ爲シ
トシテ吾々ニ大ナル恐怖ヲ與ヘラレタノデ

ノニアリマス、更ニ私ハ此點ニ付テ申上ダ
タイノデアリマス、今日マニ大資本ノ銀行
行ガ果シテ破綻シタカ、地方ニ於ケル小資
本ノ銀行ガ破綻シタカ、何レデアリマス
カ、小資本ノ方ノ銀行ヨリモ大資本ノ銀行
ノ方ガ多ク破綻ヲ見テ居ルノデアリマス、
故ニ私ハ如何ナル點カラ見マシテモ、免
ニ角大藏省ガ民間ノ實業家ニ向シテ干渉
スルト云フコトハ宜シク御慎ミアランコト
ヲ望ムノデアリマス、藏相ノ之ニ對スル御
考ヲ伺ヒタイノデアリマス、次ニ私ガ藏相
ニ伺ヒタイノハ奢侈ノ輸入税品ノ中ニ、最
早藏相ノ之ヲ改正スル必要ヲ認メラル、ヤ
否ヤデアリマス、此奢侈品ノ中ニハ我國ニ
在留スル外國人ノ使フ日用品モ含マレテ居
ルノデアリマス、先程御議論ノアッタ如ク
外交ハ最モ重大ナモノデアルト致シマスレ
バ、我國ニ在留致シテ居ル數千ノ外國人が
最モ不満、不愉快ニ思フヤウナ日用品ノ食
料品ヲ、贅澤品ノ中ニ無理ニ加ヘテ、之ニ
十割迄モ税ヲ課スルト云フコトハ、是ハ經
濟上ヨリノミナラズ外交上ヨリモ賢明デア
ルヤ否ヤヲ疑フノデアリマス、若シ此席ニ
外務大臣ガオキニナリマシタラバ、奢
侈品ノ中ニ我國在留ノ外國人ガ日用トスル
品物ヲ加ヘテ置クト云フコトガ、外交ニ毫
モ影響ハナイカト云フコトヲ伺フコトが出
來レバ仕合セト思ヒマス、故ニ私ハ最早演
口藏相ハ此奢侈品ノ中デ改正ヲスル必要ヲ
御認メニナツト思ヒマスガ故ニ之ニ對
シテ自ラ御提案ナサル、カ、或ハ最早吾々
ノ修正ヲ御許シニナルカト云フコトヲ伺ヒ
タイノデアリマス、最後ニ私ガ演口藏相ニ
伺ヒタイノハ、法人及個人ノ納稅額ヲ公表
セレタイト思ヒマス、今日迄政府ハ法人及
個人ノ納稅ヲ公表スルコトヲ許サレナシ、帝
リマス、故ニ我國ニ於キマシテモ法人及個
人ノ納稅額ヲ御公表ニナルコトニナリマシ
タナラバ、我國ノ納稅觀念ヲ高メル上
ニ於テ大ナル利益ヲ生ズルモノト思フノデ

アリマス、以上ノ點ニ付テ幸ニ御教示ヲ賜
ハレバ光榮デアリマス(拍手)
○議長(柏谷義三君) 加藤總理大臣
(國務大臣子爵加藤高明君登壇)
○國務大臣(子爵加藤高明君) 武藤君ハ昨
日私ニ書簡ヲ送ラレマシテ、本日ノ質問ニ
於テ述ベラル、箇條ヲ豫メ御知セ下サツ
ノデアリマス、是ハ洵ニ善イ事デアリマス
カラ、此後トモ出來ル御方ハ豫メ質問ノ要
旨ヲ御知ラセ下サルト、答辯ノ上ニモ大變
便宜デアリマス、此新例ヲ開カレタコト
ハ洵ニ結構ナ事デアルト云フコトヲ御披露
シテ置キマス、但シ少々變更ガアリマシテ
之ニ書イテナナイ事ヲ御尋ニナツタコトモア
リ、書イタ事ヲ御尋ニナラナカタ事モア
リマスガ、大體ハ書イテ送ラレタ書面ニ依ッ
テ御尋ニナツテ居リマスカラ、其點ヲ先以
テ感謝致シテ置キマス、第一ニ御尋ニナリ
マシタ箇條ハ支那ニ於ケル海關稅ノ問題、是
ハ主義上承諾シケ置キナガラ未だ實行ガ出
來ヌカラ、速ニ增稅ガ行ハレルヤウニ支那ノ
財政ノ援助ヲ圖ツタラドウカト云フ御尋デ
アッタヤウデアリマス、是ハ成程主義トシテ
ハ既ニ關係諸國ノ間ニ條約アリマシテ、二分
五厘輸入稅ヲ增スト云フコトニナツテ居リマス、
多分其事ヲ云ウタコト、思ヒマス、然ルニ其調
印國ノ中デマダ條約ヲ批准シテ居ラヌ國ガ
アルノデアリマス、關係ノ諸國ガ悉ク批
准シテカラ初メテ實行ノ會議ガ開カレル譯
デアリマスガ、未ダ調印未濟ノ國ガアル爲
ニ今日迄會議ガ開カレヌノデアリマシテ、
帝國ガ決シテ延バシテ居ル譯モナシ、帝
國一人デ之ヲ促進スル譯ニ參ラヌト云フコ
トヲ御承知願ヒトイ、支那ニ於ケル治外法
權ヲ撤去シタラドウカト云フコトガ次ニ
アッタヤウデアリマス、是ハ支那ニ於ケル治
外法權ヲ撤去致シテ、法權ヲ彼シテ回復セ
シメタイト云フコトハ、餘程前カラ我國ニ
テ高メルト云フコトニナツタ承知シテ居
リマス、故ニ我國ニ於キマシテモ法人及個
人ノ納稅額ヲ御公表ニナルコトニナリマシ
タナラバ、我國ノ納稅觀念ヲ高メル上
ニ於テ大ナル利益ヲ生ズルモノト思フノデ

アリマス、以上ノ點ニ付テ幸ニ御教示ヲ賜
ハレバ光榮デアリマス(拍手)
○議長(柏谷義三君) 静浦ニ願ヒマス
○國務大臣(子爵加藤高明君)(續) 其必要
ノ存シテ居ル今日ニ於テハ、依然トシテ存
續スルコトガ必要デアルト云フコトヲ申上
ゲテ置キマス、ソレカラ政府ガ莫大ナ財產
ヲ有シテ居リ、又大ナル認可權等ニ於テ政
府ノ權力ガ強過ギルト云フコトモアリマ
シタ、政府ガ財產ヲ有シテ居ルコト相當
ノ權力ヲ有シテ居ルコトト網紀紊亂ノ事ニ
掛ケテ御詰ガアリマシタガ網紀紊亂ト云フ
問題ト政府ニ財產ガアル、權力ガアルト云
フコトハ關係ノ無イ事ト思フノデアリマス
シタ、政府ガ財產ヲ有シテ居ル認可權ト云フ
モノガ餘ニ繁瑣ニ至リマシテ繁又ニ過ギ、行
政ヲ遲滞ナラシム嫌ヒガハイデアリマセ
スカラ、是等ノ事ニ付テハ是迄モ多少改メタ
イコトモアリマスガ、先日モ申シマシタ如
クニ、尙ホ今後政府部内ニ委員ヲ設ケテ調査
ヲ爲シ、其中ニ法律ノ不備ノモノガアレバ
スカラ、ソレカラ明治二十三年八十四號ノ法律
リマスガ、尙ホ今日其必要ヲ感ジテ居ル次
第デアリマス、公共ノ安全ヲ保持シ、國民
ノ福利ヲ増進スルコトニ爲ニ、命令ヲ發ス
ルノ必要ガアリ、其必要ガアルトキハ命令
ガアラウト思ヒマスガ、是亦網紀紊亂ト云

フ事ニ關聯シテ御尋ニナリマシタガ、製鋼製
鐵ト鋼紀紊亂ハ何等關係ノ無イコトヲ申上
ゲテ置キマス、製鐵事業、製鋼事業ノコト
ハ國ノ基礎工業アリマスカラ、是マデモ

調査ニナッタコトモアリマスガ、マダ盡サ
ザル所ガアリマスカラ、國策トシテ此工業
ヲ維持スルト云フコトハ定メ居リマスケ
レドモ、尙ホ時ニ應ジテ宜キヲ制スルト云
フ必要カアル爲ニ、此度委員ヲ設ケテ調査
ヲスル積リデアリマス、詳シイ事ハ農商務
大臣ヨリ説明ガアラウト思ヒマス、ソレカ
ラ右等ノ調査會ノ速記録ハ必シモ祕密ニセ
ズ、祕密ニハ致シマセヌ、必ズドノ速記録
デモ祕密ニシタコトモナケレバ、併シ同時ニ
是等ノ會議ヲ悉ク速記スルトモ極テ居ラ
ヌデアリマス時ト場合ニ依フテ速記スル
コトモアレバ、速記セヌ事モアリマス、隨
テ武藤君ノ御請求ノ如ク、協議等ハ必ス速
記ニ付シテ、發賣頒布スルト云フコトノ御
約束ハ致シ難イノデアリマス、併シ差支ノ
ナイモノハ是マデノ通り成ベク公表スルコ
トニ致シマス

○議長(柏谷義三君) 原君ニ御注意致シマ

ス
〔分ノタ人ハ手ヲ舉ゲテ〕ト呼フ者アリ
笑聲起ル

○國務大臣(子爵加藤高明君)(續) 武藤サ
ン御尋ニ對シテハ一通り御答辯致シマシ
タカ、尙ホ必要ナレバ詳細ナル事ハ主務大
臣カラモ答ヘラレルコトト思ヒマス

〔國務大臣高橋是清君登壇〕
○國務大臣(高橋是清君) 先刻武藤君ヨリ
御質疑ノ中ニ、製鐵鋼調查委員會ノ事ニ付
テ御述ニナリマシタガ、此問題ニ付テハ武
藤君ハ根本カラ誤解ヲセラレテ居ル、一言
其誤解ヲ解ク必要ガアルト思ヒマスカラシ
チ御答フシマス、成程戰爭中俄ニ民間ニ於
テ澤山ノ製鐵所、製鋼所ガ起リマシテ、而
シテ平和克復後即チ休戦後ニ於テ、非常ニ
苦境ニ陥リテ今日ニ及シ居ルノデアリマ
ス、其部類カラ政府ニ對シテ救濟ヲ求メタ
ルコトハ過去ノ事デアリマス、現政府ニナ
リマシテカラハ、其救濟ノ運動ヲ受ケタコ

トハ無イノデアリマス、而シテ今度設ケマ
シタル所ノ調査會ハ、既設民間ノ製鐵所ヲ
救濟スル目的ヲ以テ起シタモノデハナイノ

トアリマス、有ユル鑄業ノ基礎トナル此製
鐵事業、製鋼事業ト云フモノガ、我國ニ於
テ將來外國ノ同業者ト相對シテ、十分ニ持
久策ガ立ツモノノデアルカナイカト云フコ
トノ根本ノ調査ニ在ルノデアリマス、民間
ノ製鐵業ノ救濟トハマルデ離レタ問題デア
ルノデス、若シ民間ノ既設ノ製鐵事業ノ救
濟ガ必要ナリトスルナラバ、是ハ別個ノ問題

トシテ攻究セネバナラヌノデアリマス、又
此委員ニナッタ人ハ、武藤君ノ說ニ依リ
マスト所謂製鐵事業ニ關係ガアリテ、何ヤラ
自分ノ爲ニ計ル人々ノ如クニ御批評ガアッ
タヤウデアリマスルガ、如何ナル人々ガア
ノ委員ニナッテ居ルカト云フコトヲ御調ニ
ナッタラバ、天下何人ト雖モ此委員ノ中
一人タリトモ、已レノ會社若クハ一個人ノ
爲ニ公器ヲ利用シテ、不正ナル富ヲ得ント
スルヤウナ人格ノ低い人トハ思ハレナイ、
一人ト雖モ天下此人格ヲ疑フ者ハ無イダラ
ウト思ヒマス(拍手)且又鐵鋼事業ノ國策ヲ
樹ツルニ方々テ、從來其鐵若ハ鋼ノ事業ニ何
等知識經驗ノ無い者ヲ集メテ、何トシテ之ガ
調査が出來マセウ(拍手)全ク武藤君ガ誤解
デアリマス、又調査委員ノ如何ナル人ニデ
アルカト云フコトヲ御存シナイカラ、ア
ンナコトヲ言ハレルノダラウト思フ、又此
委員ヲ設ケマシテ、大盾金デモ使フヤウナ
コトヲ言ハレル、是ハ一ツモ豫算ニ金ハ求
メテ居リマセス、此委員ニナッタ人ヒハ手
當ガナケレバ嫌ダト云フヤウナ人ハ無イノ
デアル(拍手)又委員會ノコトハ祕密ダト云
フ、何レノ國ノ委員會モ結果ヲ得ルマデ
ニ時々會合ヲスル、之ヲ公開シテ居ルモノ
ガアリマスカ、調査ノ成シタ上ハ皆ナ是
ハ公ニスルノデアリマス、從來ノ政府ニ設
ケラレタル委員會ト雖モ、大抵其結果ニ付
テ印刷シテアルノデアル、武藤君ハサウ
云フモノヲ得ル便宣ガ無カッタカモ知レヌ、
此委員會ハ決シテ祕密デ蔭テ利益ヲ計ルナ
ド、云フヤウナ性質ノモノデナイノデアリ
マスカラ、此點ハ十分ニ御安心ニナッテ宜

カラウト思ヒマス、是ダケ申上ケテ置キマ
ス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 濱口大藏大臣

〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕
○國務大臣(濱口雄幸君) 武藤君ノ御質問
ニ順序ヲ遂ヒマシテ御答ヲ致シマス、第一
ノ御質問ハ、昨年十一月下旬ニ私ガ手形交
換所大會ニ出席致シテ、其時ニ爲替相場ハ
三十八弗以下ニハ下落セシメナイト云フ演
說ヲシタト云フコトデアルガ、同ジ趣意ノ
事ヲ此議場ニ於テ更メテ言明スルコトヲ希
望スルト云フ御希望デアリマシタ、爲替對
策ノ事ニ付テハ既ニ本月二十二日ノ財政演
說ヲシタト云フコトデアルガ、三十八弗以
下ニ下ダヌ、或ハ三十八弗一分ノ一下ニハ
下ダナイト云フガ如キ、具體的ノ數字ヲ私
ハ判然申シテハ居リマセヌ、若シ其邊ノ誤
解ガアリマスレバ、只今ノ言明ニ依フテ御
了承アランコトヲ希望致シマス、第二ノ御
質問ハ爲替調節ノ根本策如何、政府ノ說明
ニ依レバ、爲替調節ノ應急策ト致シテ此上
ノ暴落ヲ防ギ市場ノ安定ヲ圖ランガ爲ニ、
内外ニ於テ政府ガ保有シテ居ル所ノ正貨ノ
拂下ヲモ行フ積リデアルト云フコトヲ説明
致シテ置キマシタガ、是ハ如何ニモ爲替ノ
維持並ニ安定ニ對スル所ノ對策デアリマ
ス、然ラバ根本策ハ如何ト云フコトニナリ
マスト、武藤君ガ御質問ノ時ニ衛生論ト治
療論トノ例ヲ御引キニナリマシタガ、此複
雜極マル爲替問題ト云フガ如キ大問題ヲ御
互ニ論議致シマスル際ニ、左様ナル比喩ヲ
以テ簡單ニ解決スル譯ニハ參リマセヌ、爲
替相場ノ調節ニ要スル所ノ根本策ニ付テハ
テモ相當ノ施設ヲ致シテアルコトハ、豫算
入ノ抑制、輸出ノ獎勵ニ俟ツノ外ハナイン
デアリマス、此事柄ニ付テモ屢々説明申上げ
テ置キマシタ通り、又十四年度ノ豫算ニ於
テモ相當ノ施設ヲ致シテアルコトハ、豫算
ニ依フテ御承知ニナッテ居ルコト、思ヒマス
ガ、輸入防遏ノ具體的ノ方策ニ至リマシテ
ハ、御承知ノ通り我國ノ輸入品ノ大部分ハ
ニ依フテ御承知ニナッテ居ルコト、思ヒマス
品、若クハ材料品デアルト云フ其事實ニ鑑
ミマシテ、溢ニ輸入ヲ防遏スルト云フコト
ハ出來マセヌノミナラズ、然ラバ既成品ニ
對シテ爲替調節ノ爲ニ輸入ノ防遏ヲスルコ
トが適當デアルヤ否ヤト云フコトモ、是亦
物價調節上ノ見地カラ輕々ニ判断スルコト
ノ出來ナイ問題デアリマス、然ラバ能ク世
間デ申シマス所ノ、政府ガ輸入ヲ管理スベ

執ルベキ所ノ先決問題、政府ハ如何ナル方
策ヲ講ズベキヤト云フコトニ付テハ、從來
屢々述べテ置イタ通リデアリマス、即チ其根
本策ヲ實行スルニ方々テノ先決問題ト致シ

マシテハ、第一ニ行政財政ノ整理緊縮ガ是
デアリマス、第二ニハ民間ノ消費節約ガ是
デアリマス、此兩様ノ目的ヲ達スルガ爲ニ
ハ、既ニ説明ヲ致シテ置キマシタ通り、大正
十四年度ノ財政計畫ニ對スル説明ハ既二十
分ニ申上ダテ置イタ通り、此財政計畫ノ緊
縮殊ニ公債發行ノ節約ニ依リマシテ、通貨
ノ膨脹ヲ防ギ、物價ノ暴騰ヲ防ギ金利ノ上ル
コトヲ防ギマシテ、之ニ依フテ進ンデ貿易
ノ逆調ヲ緩和致シ、國債貸借ノ均衡ヲ保タ
ントスルノデアリマス、其以外ニ或ハ民間
ノ消費ヲ節約スルガ爲ニモ、只今武藤君ガ
御指摘ニナリマシタ所ノ、昨年ノ特別議會
ニ於テ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ、目下實行
中ニ屬シテ居リマスル所ノ贅澤品ノ課稅ノ
問題並ニ復興財產債券發行ノ事柄、其他汎
ク民間全體ニ涉ゲテ、消費ノ節約勤儉力行
ニ於テ諸君ノ御協賛ヲ得マシテ、目下實行
中ニ屬シテ居リマスル所ノ贅澤品ノ課稅ノ
問題並ニ復興財產債券發行ノ事柄、其他汎
ク民間全體ニ涉ゲテ、消費ノ節約勤儉力行
ノ獎勵ニ努メテ居ルコトハ御承知ノ通リデ
アリマス、是ガ即チ爲替調節ノ根本策ヲ實
行スル先決問題デアルト政府ハ信ジテ居ル
次第デアリマス(拍手)其他貿易ノ逆調ヲ緩
和スルト申マスレバ、何ト致シマシテモ輸
入ノ抑制、輸出ノ獎勵ニ俟ツノ外ハナイン
デアリマス、此事柄ニ付テモ屢々説明申上げ
テ置キマシタ通り、又十四年度ノ豫算ニ於
テモ相當ノ施設ヲ致シテアルコトハ、豫算
ニ依フテ御承知ニナッテ居ルコト、思ヒマス
ガ、輸入防遏ノ具體的ノ方策ニ至リマシテ
ハ、御承知ノ通り我國ノ輸入品ノ大部分ハ
ニ依フテ御承知ニナッテ居ルコト、思ヒマス
品、若クハ材料品デアルト云フ其事實ニ鑑
ミマシテ、溢ニ輸入ヲ防遏スルト云フコト
ハ出來マセヌノミナラズ、然ラバ既成品ニ
對シテ爲替調節ノ爲ニ輸入ノ防遏ヲスルコト
が適當デアルヤ否ヤト云フコトモ、是亦
物價調節上ノ見地カラ輕々ニ判断スルコト
ノ出來ナイ問題デアリマス、然ラバ能ク世
間デ申シマス所ノ、政府ガ輸入ヲ管理スベ

ノ協定ガ圓滿ニ行ハル、コトヲ希望致シ、其行ハル、コトヲ勧告ハ致シマスルケレドモ、決シテ干涉ヲ致シテ居リマセヌ、銀行ノ合同、配當ノ減少亦同様デアリマス、是ハ勧告デアリマス、銀行自身ノ自發ニ候シベキモノデアリマシテ、政府ノ干渉ニ依テ如何トモスルコトノ出來ナイモノデ、干涉スル意思ハ毛頭持テ居ナイノデアリマス、唯、武藤君ト或ハ意見ノ相違ニナルカ知リマセヌガ、武藤君ハ銀行其モノ、合同ニ反対セラレタノデアリマス、是ハ私ノ意見トハ全ク違フ、今日日本ノ銀行ハ本店ダケデモ御水知ノ通り殆ト二千ヲ算スル、支店ヲ合セマスレバ五千ニ近イノデアリマス、斯ノ如ク多數ノ銀行ガ、今日ノ日本金融機關トシテ存在スルト云フコトガ必要デアリマセウカ——絶對ニ必要デアリマスルカ、私ハ左様ニハ考ヘテ居ナインデアリマス、其行ガ多數ニ存在ヲシテ居ルト云フコトガ我國ノ金融機關ノ組織ノ薄弱デアルト云フ證據デアリマス(拍手)斯ノ如ク薄弱ナル銀行ノ組織ヲ持テ居ルト云フコトノ爲ニ、一朝經濟界ニ激變ノ來タ場合ニ於キマシテ、其多數ノ小銀行ハ經濟界ノ逆調ノ潮流ニ支ヘル所ノ力ガ弱イノデアリマス、力ガ弱イ結果トシテ到ル處ニ破綻ヲ起シ、金融界ノ一角ニ起タル所ノ破綻ハ、延々金融機關ノ組織ノ全體ニ及ボシ、經濟界ニ向テ言フベカラザル所ノ害毒ヲ流スト云フコトハ、今日ニ至ルマデ屢々御互ニ遭遇シタ所ニアリマス(拍手)故ニ斯ノ如キ基礎ノ薄弱ナル金融機關ヲ整理致シマシテ銀行ノ合同ヲ行フテ、基礎ノ鞏固ナル少數ノ銀行ニ依テ我國ノ金融ヲ支配セシムルコトニスルコトガ、將來ノ事業ノ發展、產業ノ發達ノ爲ニモ極メテ望マシイ所デアルト、政府ハ確信ヲ致シマス(拍手)其次ニハ贅澤品ノ關稅、是ハ政府ニ於テ改正ノ意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマシタ、目下政府ニ於テ改正ノ必要ノ有無ニ付テ調查中デアリマス、マダ材料ガ十分ニ揃ヒマセヌガ、材料ガ揃ヒマシタナラバ、改正ノ意見ヲ附シテ議會ニ提案

ヲスル運ビニナルカ知レヌト思ヒマス、最後ノ御質問ハ法人並ニ個人ノ納稅額ヲ公表スルコトハ、納稅思想ノ涵養ノ爲ニ必要ト考エルガドウカト云フコトデアリマシタ、是ハ米國ニ例ガアルト云フコトヲ御詫ニナリマシタガ、米國ニ於テハ或ハ成績ヲ擧ゲテ居ルカ知リマセヌガ、此自分ノ財產並ニ自分ノ所得ニ對スル祕密ヲ嚴守スル觀念ノ極メテ強烈ナル所ノ日本ノ國情ニハ、此遣方ハ適應シナインモノト思ヒマス、仍テ左様ナル考ヲ持テ居リマセヌ(拍手)

○議長(柏谷義三君) 廣岡宇一郎君
〔廣岡宇一郎君登壇〕 廣岡宇一郎君
○廣岡宇一郎君 本員此演壇ニ立ッテ、時ノ政府當局ト言論ノ應酬ヲ爲シタルコト數年デアリマス、而モ今ヤ最近ニ於ケル政府ノ質問應答ノ結果ヲ見テ、默シテ已ムベカラザルモノガアルノデアリマス、茲ニ數項ニ涉テ最モ簡單率直ニ政府所信ノ在ル所ヲ伺ヒタイト思フノデアル、此質問ヲ爲ス前ニ當ラテ、豫メ憲政會出身ノ閣臣、特ニ加藤首相ニ對シテ一言警告ヲ爲シテ置カナケレバナラヌ事ガアル(拍手)加藤首相が議員ノ質問ニ對スル答辯ハ極メテ誠意ヲ缺イテ居ル、徒ニ片言隻語ヲ捉ヘテ末節枝葉ニ瓦リテ、質問ノ本旨ニ副ウテ質問者ノ了解ヲ求ムルコトニ努メテ居ラヌ、甚シキニ至テハ與黨少數ノ人ノ質問無用ト云フ聲ニ聲援ヲ得テ、再質問ノ時ニ至テハ答辯セザルコトガ甚ダ多イノデアル(拍手)殊ニ其態度ニ至ラテハ私ノ遺憾トスル點が甚ダ抄カラヌノデアリマス、去ル二十二日ニ加藤首相ガ此演壇ニ立タレテ居ルトキニ、議場ニ笑聲ガアタカ知リマセヌガ、議場ニ笑聲ヲ聞クコトハ甚ダ遺憾デアルト言ハレテ居ル、成程遺憾デアリマセウ、併シ加藤君自身ハドウデアル、高見君ノトキニモ、木下君ノトキニモ、先刻ノ武藤君ノ演説ノトキデモ、隣席ノ幣原君ト私話ヲ交換シ、冷笑ヲ以テ迎ヘテ居ルヤウナ例ハ澤山アル

ヲハナイカ、人ヲ責ムルコト嚴ニシテ已テ御質問ハ法人並ニ個人ノ納稅額ヲ公表スルコト甚ダ寬デアル、斯ノ如キハ啻ニ誠ルコトハ、納稅思想ノ涵養ノ爲ニ必要ト考エルガドウカト云フコトニナリマス」湯淺君ヲ此恩命ノ爲ニ立派ナ人トナッタト認メテ居ルガ、加藤總理ハ昨年一月二十六日ノ解ヲ得タト云フコトデアルガ、足一タビ衆議院ニ來レバ、依然トシテ舊態ヲ保持シテ居ルノデアル、私ハ加藤君ガ堂々タル帝國ノ宰相トシテ、此點ニ付テ深ク留意ヲ求ムルノデアル、國民ハ過ヲ改メザル人ヲ頑冥不靈ト言フテ居ル、加藤首相ニ此頑冥不靈ノ文字ガ適用ガ出來ルカ出來ヌカハ本員今此處デ言明致シマセヌ、併ナガラ加藤首相自身ハ少クモ此點ニ付テ深甚ナル注意ヲ拂ハナケレバナラヌノデアル、故ニ本員ノ質問ニ對シテハ不誠意不謹慎、若クハ無禮ノ言動ハ斷ジテ之ヲ許サヌノデアル(拍手)笑聲起ル)

○議長(柏谷義三君) 静肅ニ……

○廣岡宇一郎君(續) 加藤首相ニ質問ヲ致シタイ事ガアル、去ル二十四日ノ高見君ノ質問應答ニ關係ヲ致シテ居リマス、併ナガラ質問ノ趣意ハ高見君ノ趣意トハ大ニ異ニテ居リマスカラシテ、此點ニ御留意アランコトヲ希望致シマス、高見君ノ質問ノ要旨ハ洵ニ滔々數千言デアリマス、併シ之ヲ要約スレバ、時ノ警視總監湯淺倉平君、此人ガ懲戒免官ノ處分ヲ受ケテ、其後ニ至テテ行シテ、基础ノ鞏固ナル少數ノ銀行ニ依テ我國ノ金融ヲ支配セシムルコトニスルコトガ、將來ノ事業ノ發展、產業ノ發達ノ爲ニモ極メテ望マシイ所デアルト、政府ハ確信ヲ致シマス(拍手)其次ニハ贅澤品ノ關稅、是ハ政府ニ於テ改正ノ意思アリヤ否ヤト云フコトデアリマシタ、目下政府ニ於テ改正ノ必

要ノ有無ニ付テ調查中デアリマス、マダ材料ガ十分ニ揃ヒマセヌガ、材料ガ揃ヒマシタナラバ、改正ノ意見ヲ附シテ議會ニ提案

云フ人ノ位置、其所在ヲドウ認メテ居カ是ガ一ツノ問題デアル、總理ノ答辯ヲ見テ加藤首相ニ問題デアル、斯ノ如キハ啻ニ誠カはテ奇麗ナ人トナッタノデアリマス」湯淺君ヲ此恩命ノ爲ニ立派ナ人トナッタト認メテ居ルガ、加藤總理ハ昨年一月二十六日ノ解ヲ得タト云フコトニナリマス」湯淺君ヲ此恩命ノ爲ニ立派ナ人トナッタト認メテ居ルヤウニ思フ」即チ懲戒免官ノ人ヲ任命シタト云フ質問ニ對シテ、是ハ間違テ居ルノデアル、アノ人ハ責任ヲ感ジテ辭職ヲシタノデアル、所ガ其後ニ於テ辭職デナイ懲戒免官デアルト云フ事實ガ分ッテ來タカラ、今日解明シタノデアル、少クモ此答辯ヲ爲ス當時ニ於テハ、加藤君ノ頭ニハ懲戒免官ト云フ事實ハ無カツタノデアル、更

テ居ル、日露戦争ノ時ニハ皆ナ我ガ日本ノ國民ハ簪ヲ持テ行キ、指輪ヲ持テ行ラテ貨幣制度ノ基礎ノ鞏固ニ努メタノデアル、然バ今日ノ國民ハ尙ホ日露戦争ノ當時ノ國民ト同ジ國民デアル、此間ニ日本ノ國民ノ國家ニ對スル觀念ニ毫末ノ差異アリト私ハ信ジテ居ラヌ（拍手）日露戦争ノ當時ニ於テ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、兌換制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望トシテハ、濱口君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

ノ希望ハ、内務次官湯淺君ハ速ニ其職ヲ辭シテ謹慎ノ意ヲ表シ、以テ國民ノ精神狀態ノ安定ニ資セシトヲ希望スル（拍手）第二ニ貨幣制度ニ斯ノ如キ忠實ナル、國家觀念ニ旺盛ナル、國民ガ——此問題ハ今日豫算委員會ニ於テモ、亦此處デ武藤君モ述ヘラレタカラ、私は深クハ言ハヌガ、斯ノ如キ問題ガ茲ニ起シテ居ルノニモ拘ラズ、同ジ日本ノ國民ガ今回ニ於テハ兌換制度ノ基礎ニ疑ヲ懷イテ、日本銀行へ兌換ノ要求ヲ爲ス者類々タルモノアリト云フニ至ラテハ、是ハ何ガ故デアルカ、之ヲ國民性ニ求ムルト云フコトハ國民ヲ責メルノ甚シキモノデアル、是ハ我國ノ國民ガ啻ニ日露戦争ノ當時デハナイ、今日ト雖モ一國ノ狀態ガ自然ニ兌換制度ノ基礎ニ影響ヲ及ボスコトガアレバ、如何ナル犠牲ヲ拂テモ此制度ノ根本ヲ擁護スルニ客ナルモノデハナイ、唯誤レル政府ノ政策ニ依テ兌換制度ノ根本ニ影響ヲ來ス場合ニ於テハ、日露戦争ノ時ト比較シテ如何ニ國家ニ對スル觀念ガ強クトモ、之ヲ犠牲トシテ加藤内閣ヲ擁護スルダケノ雅量アル國民デハナイ（拍手）デアルカラシテ此警告ヲ爲サント欲スルナラバ、先以テ御自身ガ自己ノ政策ヲ改メルノガ當然デハナカラウカ、此政策ヲ堅持シテ強テ國民ニ強要シ、國民ヲ強制シ、而シテ自己ノ政第ノ援護ニ努メシメントスルガ如キハ誤レルノ甚シキモノデアル（拍手）之ニ對スル濱口君ノ所信ハ如何デアルカ、終ニニ陸シテ一言致シテ置ク、濱口君ハ御答辯ノ外ニ、此議場ヲ通じテ六千万國民ニ對シテ或ル希望ヲ述べタ、本員モ六千万國民ヲ代表シテ此議場ヲ通ジテ政府當局ニ希望ヲ述べテ置キタイ、第一

○議長（柏谷義三君） 加藤總理大臣
〔國務大臣子爵加藤高明君登壇〕
○國務大臣（子爵加藤高明君） 只今廣岡君ノ御尋ニナリマシタ事柄ハ、先日私ハ御答致シマシタガ、稍言葉ニ不足ガアツカ、行違ガ生ジタト云フコトモ承リマシタカラ、本日更メテ意味ヲ補足シテ釋明致シテ置キマシタ、只今廣岡君ノ御質問ヲ承テ居リマシタが、御尋ニナリマシタ事ハ……（此時發言スル者多シ）

○議長（柏谷義三君） 静浦二
○國務大臣（子爵加藤高明君）（續） 御尋ニナリマシタ事柄ハ、先日私ハ御答致シマシタガ、稍言葉ニ不足ガアツカ、行違ガ生ジタト云フコトモ承リマシタカラ、本日更メテ意味ヲ補足シテ釋明致シテ置キマシタ、只今廣岡君ノ御質問ヲ承テ居リマシタが、御尋ニナリマシタ事ハ……（此時發言スル者多シ）
○議長（柏谷義三君） 濱口大藏大臣
〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕
○國務大臣（濱口雄幸君） 只今ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、第一ノ御質問モ第ニ御質問モ、失禮ナガラ私ノ言フ趣意ヲ誤解ナサレテ居る、速記録ヲ能ク御覽ニナレバ明瞭アラウト思フ、是ハ櫻内君ニ對スル答辯ハ既ニ終ツタ——終ツタト云フコトヲ私ハハッキリ申上ゲテ、此機會ニ於テ自分ノ所感ヲ申上ゲタイト云フコトヲ冒頭ニ申述ベテ居リマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 濱口大藏大臣
〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕
○國務大臣（濱口雄幸君） 只今ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、第一ノ御質問モ第ニ御質問モ、失禮ナガラ私ノ言フ趣意ヲ誤解ナサレテ居る、速記録ヲ能ク御覽ニナレバ明瞭アラウト思フ、是ハ櫻内君ニ對スル答辯ハ既ニ終ツタ——終ツタト云フコトヲ私ハハッキリ申上ゲテ、此機會ニ於テ自分ノ所感ヲ申上ゲタイト云フコトヲ冒頭ニ申述ベテ居リマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 静浦二
○國務大臣（濱口雄幸君） ソレ故ニ「是ハ私ノ將來ニ向テノ希望デアリマス」ト云フはミ、私ハ「是ハ私ノ將來ニ向テノ希望デアリマス」ト云フコトヲ申述ベテ居リマス、將來ニ向テノ希望ヲ申述ベルト云フコトヲ態々申上ゲテ居ルノデアリマス、此點ハドウカ誤解ノナイヤウニ希望致シマス、私ハ御互ニ此立

ハアリマスマイ、ソレカラ「政黨政派ヲ超越シタル所ノ純乎タル經濟上ノ大問題デアリマス」是モ御異存アリマスマイ、此大問題ニ付テ御互ニ立法府ト致シマシテ意見ヲ抛タレンコトヲ希望スル、此政策ヲ拋ツコト能ハズンバ、速ニ其職ヲ辭シテ天下二謝サレンコトヲ希望スル（拍手）

○國務大臣（濱口雄幸君） 私が在野ノ時に於テ、即チ大正九年若クハ十年ノ頃ニ於テ金ノ輸出解禁論ヲ主張シタコトハ事實デアリマス、凡ソ經濟上ノ政策ハ其當時ノ内外ノ經濟上ノ情勢ニ依テ意見ヲ決メルベキモノデアリマス、金ノ輸出ヲ禁止スルカハ解禁スルカト云フ如キ問題ガ、是ガ一定不易萬世不變ノモノデアリマセ（拍手）

○國務大臣（濱口雄幸君）（續） 吾々が金ノ輸出ノ解禁ヲスベシト云フコトヲ主張シタ大正九年若クハ大正十年ノ當時ニ於テ、諸君ハ日本ノ對米爲替ノ相場ハ幾リマス、四十弗ノ平價ニ對シテ四十八弗ノ主張シタ大正九年若クハ大正十年ノ當時ノ為替相場ハ四十八弗半デアツタノデアリマス、四十九弗ノ平價ニ對シテ四十八弗半、其差ハ僅ニ三分ノ三デアツタノデアリマス（拍手）其當時ノ貿易ノ差額ハ如何デアツタカ、無論輸入超過デハアツタケレドモ、ソレデモ輸入超過ノ金額ハ精々二億圓若クハ三億圓デアツタノデアリマス、諸君大正九年若クハ十年カラ四五五年ヲ隔テタル今日ニ於テ、内外ノ經濟事情ハ如何ニ變化シタト諸君ハ御覽ニナツテ居ルカ、今日ノ爲替相場ハ御承知ノ通り諸君ガ屢々攻撃ニ使ハルルガ如ク三十八弗二分ノ一分ノアリマスゾ、其平價ヲ距ルコト二割二分七厘デアリマス（拍手）斯ノ如キハ爲替相場ガ平價カラ非常ナル懸隔ノアル時ニ於テ、一舉ニシテ金ノ輸出解禁ヲ即時行スルコトハ、餘リニ值段ガ違フカライケナイト云フコトヲアナタ

方ノ總務タル吉植君ガ言テ居ル、吉植君ノ御意見ハ今日ノ豫算總會ニ於テ私ハ承

タノデアリマス、即チ吉植君ノ御意見ハ即時解禁ニアラズシテ期限附ノ解禁デアタ

ノデアリマス、其期限附ノ解禁ヲ主張セラレタル所ノ理由ハ、現在ノ爲替相場ガ平價

ト餘り懸隔ガ甚シイガ爲ニ即時解禁ハ不利

益デアルト云フ御意見デアッタヤウニ私ハ承知ヲ致シマス、即チ内外ノ貿易ノ情勢カラ申シマシテモ、爲替相場ノ變動ノ状態カラ申シマシテモ、吾々ガ金ノ輸出解禁ヲ主張シタル所ノ大正九年十年ハ一昔ノ感ガアルノデアリマス、此時代ノ趨向ヲ察スルコトナクシテ、政治家ガ一度唱ヘタル所ノ政治上ノ政策ガ如何ニモ柱ニ膠スルガ如キモノナクテハナラスト云フ考ヲ以て他人ノ政策ヲ批評致シ、甚シキハ此議場ニ於テ私ニ向テ辭職ノ勸告ヲスルト云フ如キハ洵ニ驚入タル話デアリマス（拍手）

○議長柏谷義三君 廣岡宇一郎君
〔廣岡宇一郎君登壇〕
○廣岡宇一郎君 本員ハ加藤君ノ演説ガ—答辯ガ大抵斯様ナ程度ノモノデアラウト初メカラ憂ヘタカ故ニ、ソレデ以テ先刻警告ヲ與ヘタ、然ルニ平然トシテ同一ノコトヲ繰返ス、厚顔ニ至テ極マレリト言ハナケレバナラヌ、濱口君ハ唯其聲ヲ大ニシ其言葉ヲ長クシテ居ルガ、何等要領ヲ得テ居ラヌデハナイカ、故ニ本員ハ斯ノ如キ人ヲ相手ニシテ何時マデモ質問ハ續ケマセヌ、今日ノ辯論ヲ公開シテ徐ニ國民ノ判断ヲ受クルニ遲シトシナイ、而モ唯是ニ於テツノ明白ナル事實ヲ得タコトハ本員甚ダ愉快デアル、即チ加藤君ト云ヒ、濱口君ト云ヒ、責任有ル立憲政治家トシテノ資格ニ甚ダ乏シキモノデアルト云フ事實ヲ得タコトデアル、此點ニ満足ヲシテ本員ハ此演説ヲ終了スル次第デアリマス（拍手）

○議長（柏谷義三君） 議事進行ニ關シテ發

言ヲ求メラレテ居リマス、吉良元夫君

〔吉良元夫君登壇〕

○吉良元夫君 私ハ議事ノ進行ニ付テ發言ヲ求メタノデゴザイマスルガ、此議事進行ニ付テ發言ヲ求メマシタル冒頭ニ於テ多少

前提ト致シマシテ——只今廣岡君ヨリ首相及轄相ニ對シテ御質問ニナツタノデアリマスルガ、藏相ハ多少御答辯ガアッタノデアリマスガ、遺憾ナガラ其答辯ハ吾々満足ハ致シマセヌケレドモガ、認メマス、首相ニ至ラテハ同一事ニ對シテ再ヒ辯明スル必要ナシトシテ御答辯ヲ御避ケニナツタノデアリマス、私ハ謹嚴ナル首相ニ對シテ揚足取

ヤ何カハ決シテ致シマセヌ、私ハ二十四日ノ首相ノ御演説ニ對シマシテ本日開會壁頭ニ於テ、成程前日ノ御發言ニ對スル御釋明

ガアッタノデアリマス、併ナガラ其御釋明タ

ルヤ決シテ自ラ悔ヒテ前言ヲ改メルト云フヤウナル御態度デハナイノデアル、其御態度

度デナイノモ姑ク忍ブベシテ致シマスルガ、私ハ先日ノ二十四日ニ御述ベニナリマシタ

ル御言葉ト—此御言葉ヲ決シテ御答メ申スノデハナイノデアル、御言葉ハ御答メ申

上ゲマセヌケレドモガ、首相ニハ懲戒免官ニナツタ者テモ、陛下ガ—陛下デハアリ

マセヌ 摄政宮殿下ガ之ヲ御寛恕ニ相成

タル以上ニ於テハ、何等遠慮スヘキモノデハナイト云フ御精神デアル、所ガ私ハ左様ニ考ヘヌノデアリマス、苟モ陛下ガ御寛

追議事進行トヲ混同スルナ」ト呼フ者アリ）追議事進行トヲ混同スルナ」ト呼フ者アリ）追

議會ニ於テ安藤正純君ガ教育ノ問題ニ付テ云フヤウナ贅言ヲ御挾ミニナツテ居ル（議事ノ進行ニアラズ「ト呼フ者アリ）此岡田文

部大臣ハ會テ四十九議會ニ於テ非常ナル奇

怪ナルコトヲ御述ベニナツテ居ル（質問ト

スノデハナイノデアル、御言葉ハ御答メ申

スノデハナイト云フ御精神デアル、所ガ私ハ左様ニ考ヘヌノデアリマス、苟モ陛下ガ御寛

追議事進行トヲ混同スルナ」ト呼フ者アリ）追

議會ニ於テ安藤正純君ガ教育ノ問題ニ付テ云フヤウナ贅言ヲ御挾ミニナツテ居ル（議

事ノ進行ニアラズ「ト呼フ者アリ）此岡田文

部大臣ハ會テ四十九議會ニ於テ非常ナル奇

怪ナルコトヲ御述ベニナツテ居ル（質問ト

スノデハナイノデアル、御言葉ハ御答メ申

ス、此點ニ於テ…

〔議事進行デハナイ」ト呼フ者アリ發言者多シ〕

○吉良元夫君（續） ソレデアリマスカラシテ斯様ナコトガ多々アル以上ハ餘程御謹慎

ニナラネバナラヌコトデアルト、私ハ其點ヲ思フカラシテ先日御取消ガアルカト云フコトヲ申上ゲタノデアル然ルニモ拘ラズ、

是ハ總理大臣一人ナメ、内務大臣ニ於テモ、文部大臣ニ於テモ、ソレハ當然ナリト言ハレテ居ルノデアル、殊ニ岡田文部大臣ノ如キハ斯様ナルコトハ決シテ國民ノ風教ノ上ニ影響ヲ持チマセヌト云フコトヲ信ズ

ルノデアリマス、御分リデゴザイマスカラシテ云フヤウナ贅言ヲ御挾ミニナツテ居

リマスルケレドモガ、師團ヲ四箇師團減少シテモ新兵器ヲ用ユレバ國防ニ何等缺陷ナ

シト云フ御説ヲ御述ニナツテ居ル併シ吾々ハサウ云フヤウニハ断乎トシテ信ゼヌモノデ

アル、此師團減少ノ如キモノハ輕々ニヤルベキ問題デハナイト思フノデアリマス、是等ニ付テハ十分ニ吾々ハ質問ヲ致シタイノ

デアル、現ニ質問通告者カマダ四十名ニ垂

トモ差支ハナイト云フヤウナ意味ノ御答ガ

アッテ居ル、是ハ蓋シ孔安國ガ孝經ノ終ノ方ニ論ジタコトヲ轉用シテノ御話デアラウト

付テハ十分私ハ致ス必要ガアルト思フノデ

アリマスカラシテ、若シモ吾々ノ聞及ブガ如ク本日ヲ以テ質問ヲ打切ルト云フヤウナコトヲシテ、吾々少數ノ野黨ニ對シテ言論

壓迫ヲ爲スガ如キコトナラバ、斷乎トシテ反對セナケレバナラヌノデアリマス

ス、カルガ故私ハ少クトモ一週間質問ヲ繼

續セラル、ヤウニ議事ヲ進行サレンコトヲ

切望シテ已マヌモノデアルノデアリマス

○伊坂秀五郎君 議事進行ニ付テ發言ヲ求

メマス

○議長（柏谷義三君） 伊坂君

〔伊坂秀五郎君登壇〕

○伊坂秀五郎君 私ハ眞ノ議事進行ニ付テ
發言ヲ要求致シタモノニアリマス、往事憲
政會ノ諸君ガ在野當時ニ於キマシテハ、議
事進行ニ名ヲ藉リテ隨分長ク此演壇ヲ占領
セラレタコトヲ私ハ記憶スルモノニアリマ
ス、現ニ目下ノ大藏省政務官ノ三木君ノ如
キモ其一例デアル、而シテ議長ガ其當時ニ
於テ取ラレタ態度ハ、我國ニ於テモ有名ナ
ル議長トシテ稱セラレタ奥議長デアル、奥
議長ノ態度ハ頗ル野黨ニ重キヲ置イテ、與
黨ノ者ガ餘リ騒擾ヲ極メル時分ニハ大ニ之
ヲ制止セラレタヤウニ吾ニハ記憶シテ居ル
ノデアリマス、然ルニ柏谷議長ニ於アハ此
與黨ノ極メテ横暴ナル態度ニ對シテ何等ノ
御制裁ノナイコトハ、議事進行上頗ル遺憾
ニ思フ、私ハ議長及與黨ノ諸君ニ謹デ御願
ヒスルコトハ、反対黨ノ議論ハ成ベク之ヲ
尊重シ、與黨ノ諸君ハ靜肅ニセラレテ議事
進行ヲ圖ラレタイト云フコトヲ、衷心ヨリ
希望シテ發言ヲ致シタモノニアリマス
○議長(柏谷義三君) 只今伊坂君ノ申述べ
ニナリマシタ事ニ御答ヲ致シテ置キマス、
議長ハ無論公平ヲ主ト致シテ居リマシテ、
私ノ眼中ニハ野黨モ與黨モナイノニアリマ
ス、左様御承知アランコトヲ希望致シマ
ス——岡田文部大臣

(國務大臣岡田良平君登壇)

○國務大臣(岡田良平君) 只今吉良君ノ御
辯明中ニ、私ガ前議會ニ於キマシテ師師タ
ラザレバ弟子弟子タラザルモ可ナリト云フ
コトヲ申シタト云フ御詰デアッタ、是ハ速
記錄ヲ御調ベテ願ヒタイ、サウスレバ直グ
分リマス、左様ナ事ハ申シテ居リマセヌ
○作間耕逸君 残餘ノ質疑ハ之ヲ延期シ、
次ノ本會議ノ日程議了後ニ尙ホ繼續セラレ
ンコトヲ望ミマス

(「賛成」ト呼ヒ拍手起ル)

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニ御異
議アリマセスカ

○伊坂秀五郎君 私ハ眞ノ議事進行ニ付テ
發言ヲ要求致シタモノニアリマス、往事憲
政會ノ諸君ガ在野當時ニ於キマシテハ、議
事進行ニ名ヲ藉リテ隨分長ク此演壇ヲ占領
セラレタコトヲ私ハ記憶スルモノニアリマ
ス、現ニ目下ノ大藏省政務官ノ三木君ノ如
キモ其一例デアル、而シテ議長ガ其當時ニ
於テ取ラレタ態度ハ、我國ニ於テモ有名ナ
ル議長トシテ稱セラレタ奥議長デアル、奥
議長ノ態度ハ頗ル野黨ニ重キヲ置イテ、與
黨ノ者ガ餘リ騒擾ヲ極メル時分ニハ大ニ之
ヲ制止セラレタヤウニ吾ニハ記憶シテ居ル
ノデアリマス、然ルニ柏谷議長ニ於アハ此
與黨ノ極メテ横暴ナル態度ニ對シテ何等ノ
御制裁ノナイコトハ、議事進行上頗ル遺憾
ニ思フ、私ハ議長及與黨ノ諸君ニ謹デ御願
ヒスルコトハ、反対黨ノ議論ハ成ベク之ヲ
尊重シ、與黨ノ諸君ハ靜肅ニセラレテ議事
進行ヲ圖ラレタイト云フコトヲ、衷心ヨリ
希望シテ發言ヲ致シタモノニアリマス
○議長(柏谷義三君) 只今伊坂君ノ申述べ
ニナリマシタ事ニ御答ヲ致シテ置キマス、
議長ハ無論公平ヲ主ト致シテ居リマシテ、
私ノ眼中ニハ野黨モ與黨モナイノニアリマ
ス、左様御承知アランコトヲ希望致シマ
ス——岡田文部大臣

○(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、御詔り致
ス事ガアリマス、第一都選出豫算委員鳩山
一郎君、第五部選出請願委員中山貞雄君、
右常任委員辭任ノ申出ガアリマシタ、許可
スルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、其部ノ諸君ハ速ニ補缺選舉ヲ行ヒ御届
アランコトヲ希望致シマス、本日ノ日程ハ
是ニテ終リマシタ、次回ノ日程ハ公報ヲ以
テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會
午後五時二十五分散會

